

宮下キツネ

Kitsune Miyashita

並
日

通

友

の

達

Ordinary friends





宮下キツネ

Kitsune Miyashita

猫です





友
達

普
通

*Ordinary
friends*







普通の友達

第1話

007

第2話

039

第3話

071

第4話

103

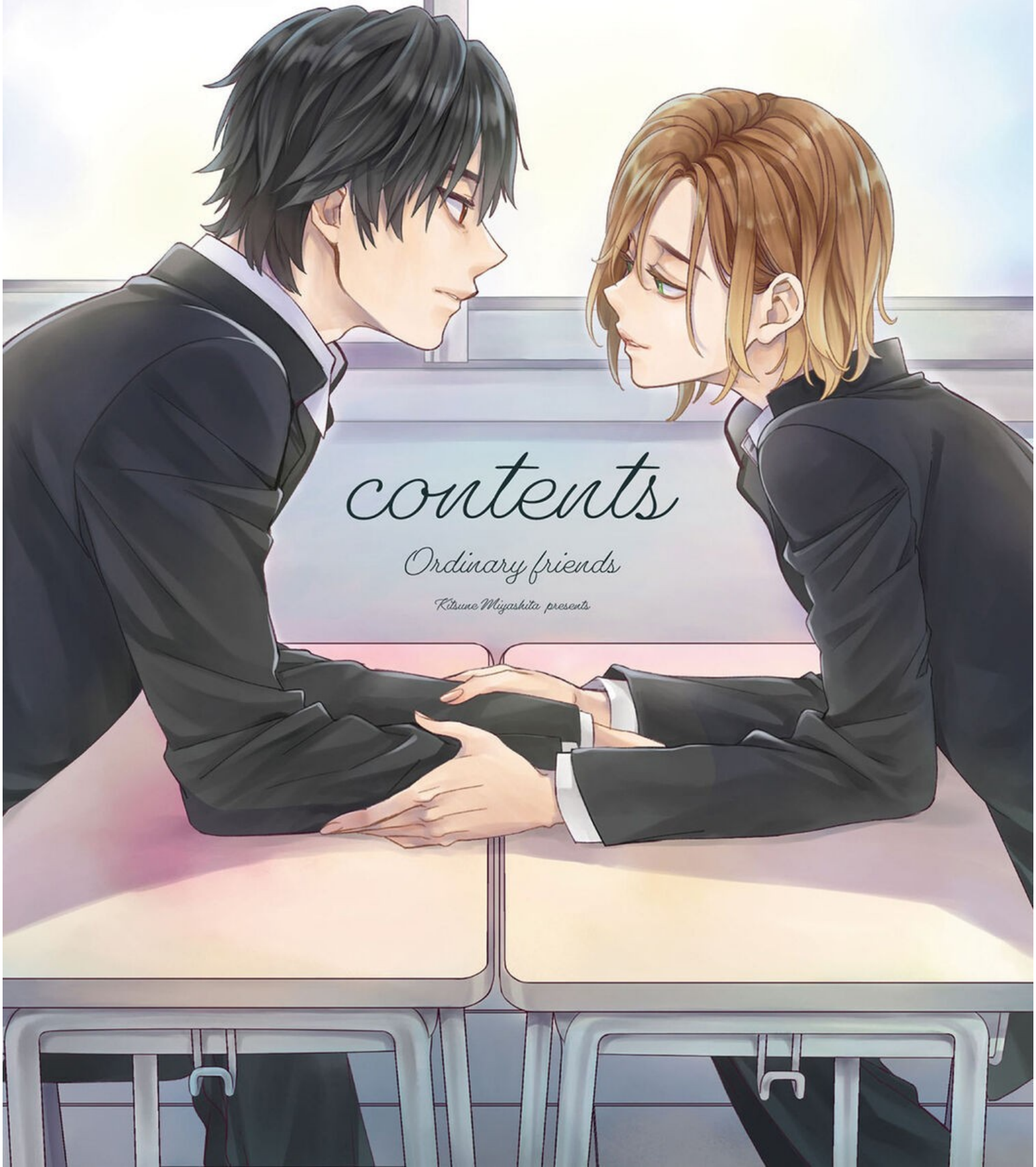
第5話

135

contents

Ordinary friends

Kitsune Miyashita presents

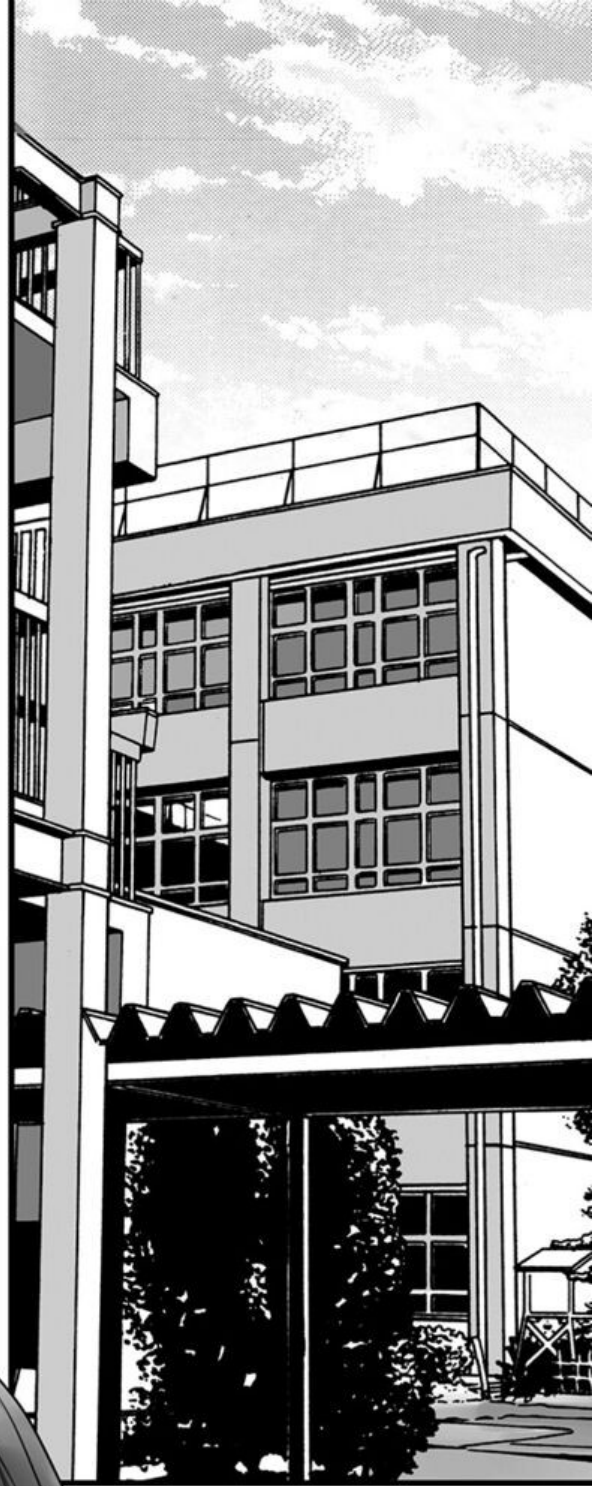


Ordinary
friends

普通の 友達

第 1 話







あーあ
つまらないなあ

いや別に面白くなくて
いいんだけどね
高校時代なんて長い人生の
うちわずかな期間だし

いったら誤差みたいなの
もんだな三年なんて



高校卒業しとかなないと
人生の選択肢狭まるから
通ってるだけだし

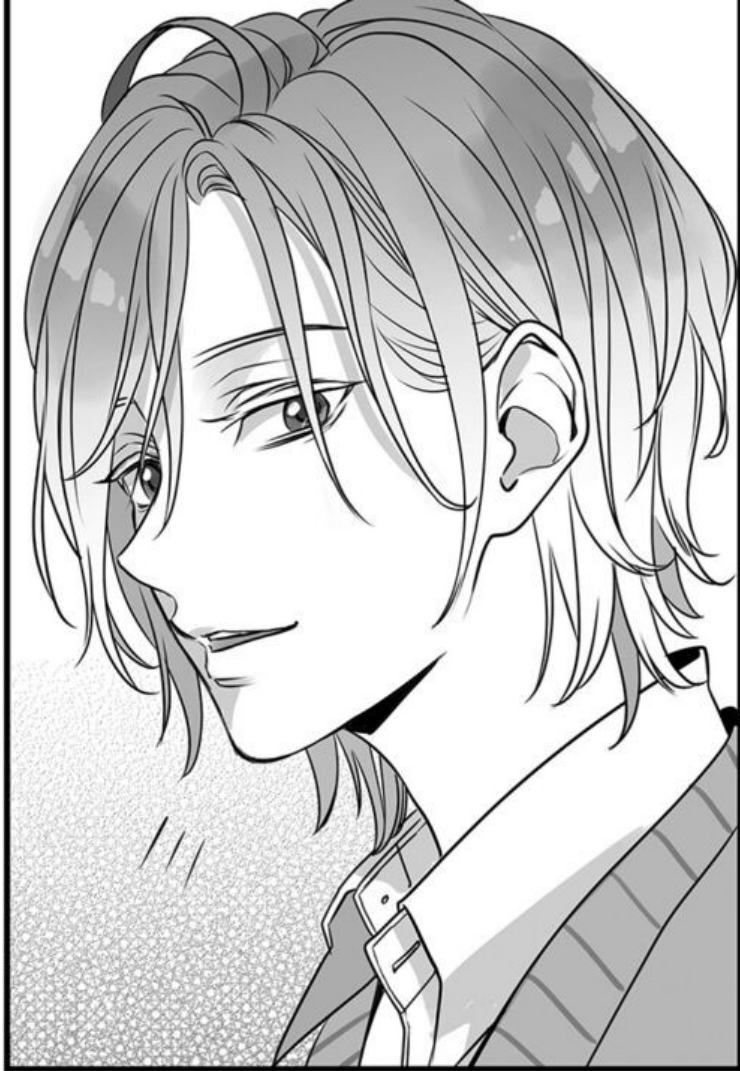


なのに今こそ最盛期って
くらいにはしゃいでも
奴らはなんなんだろうか

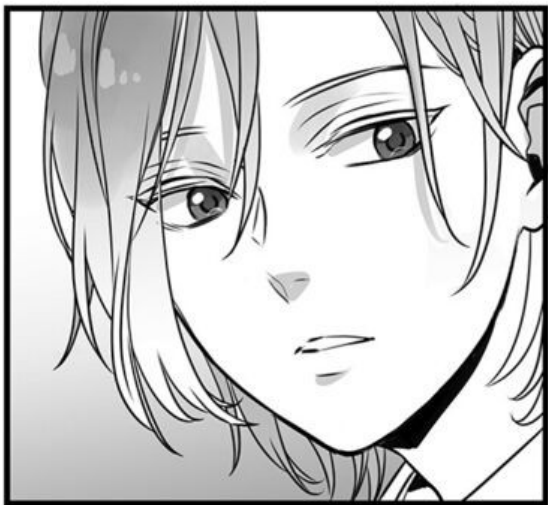


いいよなほんと
単純なやつらは





笑ってる…



そりゃあんなふう
だったら毎日楽しい
かもだけど…



あまのとういち
雨野董市くん…

誰とでも仲良くなれて
明るくて皆に好かれて
綺麗な顔で…

そこにいっただけで
目を奪われちゃうん
だよな…華がある
っていうのかな

列になれ

俺なんかにも
普通に接して
くれるし

あんなやつと仲良
なれたらきつと

楽しいだろうな

でも俺とは
住む世界が違うし…

あっごめん

おいつちゃんと
ボールくらい取れよ

偶然同じクラスに
在籍できただけでも
幸運に思えよ

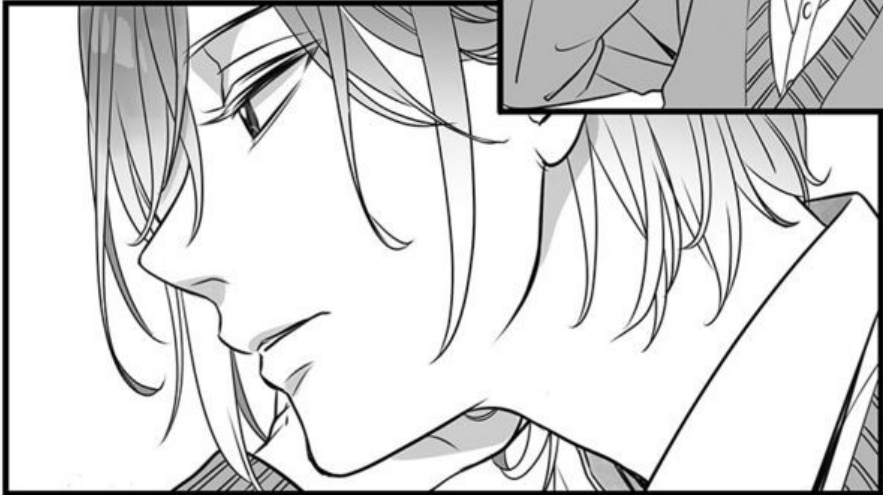
彼と比べたら俺は
そこら辺の石ころ
みたいな存在なんだ



ふるせ
古瀬!



どんまい!



好き…だなあ



まあ俺みたいな
陰キヤが彼のような
輝かしい人物に
近づくんなんて
できるはずがない

図々しいんだよな
その発想がすでに
世の理に反するだろ
きわめて不適切だ！
わきまえろ俺！



ピタ



しんどい…

はな

なんかこう…
うまくいかないなあ
すぐに立場が逆転
するような

たとえば突然俺の中に
眠る不思議な力が
目覚める！とかさ

都合のいい小説みたいに

なんでも思ったとおりになる！
そんな力があれば！



い
あ



あつ猫だ

たとえば
こんな感じで



お
い
に
ゃ
ん
こ
や

今スグぴよんツテ
飛び跳ネテミロ





どうってこと
ないけどー



なんてなー
まあ猫が飛び跳ねた
ところで別に…



えっとじゃああそこの…
今コッチニ歩イテクル
女ノ人が転ブ

とかどうかな
危ないかな



まあでも
思うくらいならね



おいっ猫お

いやいや偶然だろ
ってか見間違いか



それに
たまたまって
可能性があるし
うん…

ふう
ダメダメ
そんな夢みたい
ことあるわけ
ないって





そうだ!

今日ノ夕飯ハ
特上寿司! とか!
これどう
だろう!

ウニ食いたいし!
平和といえ
ば
寿司だ!



お帰り進まもく
今日は寿司だよ!

父さん急に寿司が
食べたくなってなあ
母さんが頼んでくれた

ふふくん
たまにはねえ

わくわく寿司く!
兄ちゃん早く着替えて
きなよく!



うそ…だろ?
ケチな両親が何の日
でもない平日に
寿司を頼むなんて
あり得ない!

いやでも待て
これくらいだったら
たまたま偶然起こりえるだろ
これだけで思いどおりになる
力が…なんて確証できる
はずもないよ

慎重に慎重に…



間違いない！本物だ！これは現実だ！

このみじめな陰キャの俺を
憐れに思った神様が

望んだとおりのことが起ころ
そんな不思議な力を
授けてくださったのだ！

この力があれば
なんだってできる！
俺の人生希望しかない
じゃないか！

いやそれどころか
森羅万象全てを
手中に収めたと言っても
過言ではないぞ！

はあ
はあ
はあ



これからは発言と強い想いを抱く時は注意しなければ

危険すぎるだろ
こんな絶大な力
慎重に使わないと



……って
ダメだよ



世界の全てが
俺のモノにー！

うおおおお



悪用はしない！絶対だ！

絶対だ！
誓いを立てよう

悪いことは
考えない…



ああ……でも
でも……

どうしても…
これだけ……

……
……
……



俺の一番の望みを……



おはよう



アイサツ……



ゴク

あ……

あ……



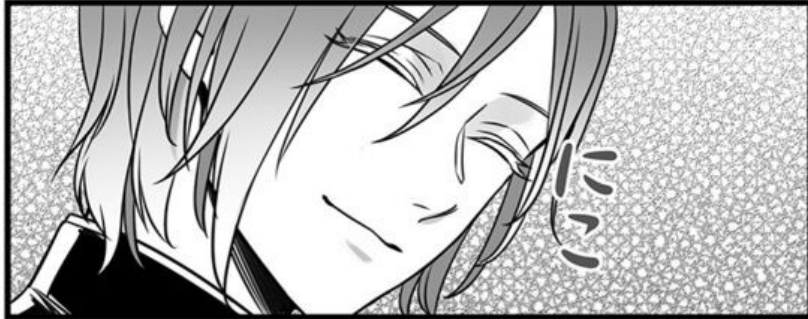
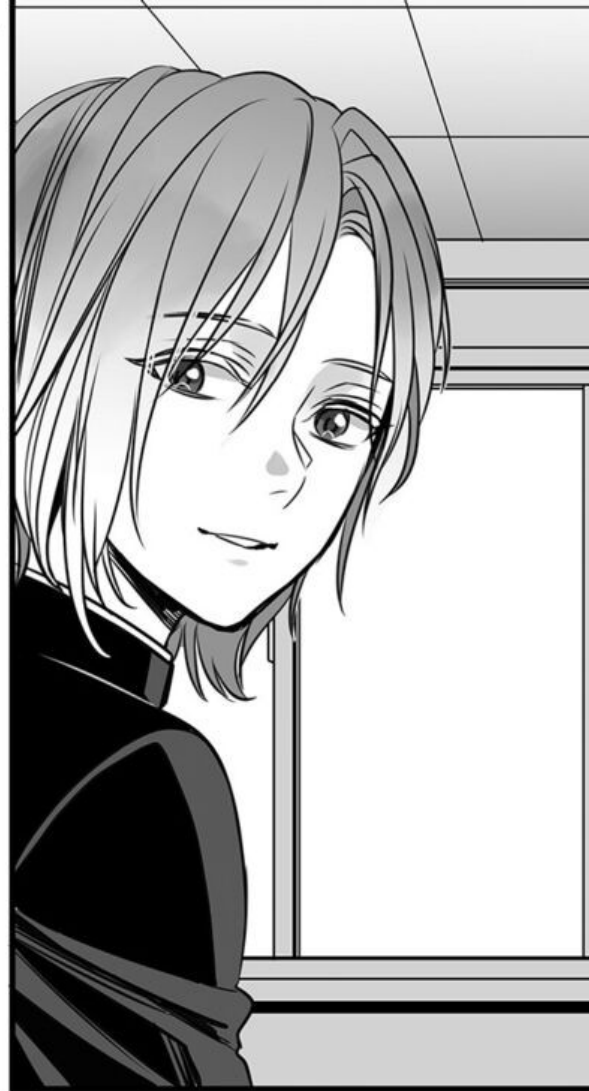
嘘だろマジか!?
えっ?

あっえっと…
お…おはよう

いやっ
本当だろ
本当だ本当だ



!!



んん



同じクラスなのに
古瀬とこうやって
朝会うの初めて
じゃない?

あ…うん
そうだね



すい…本当…

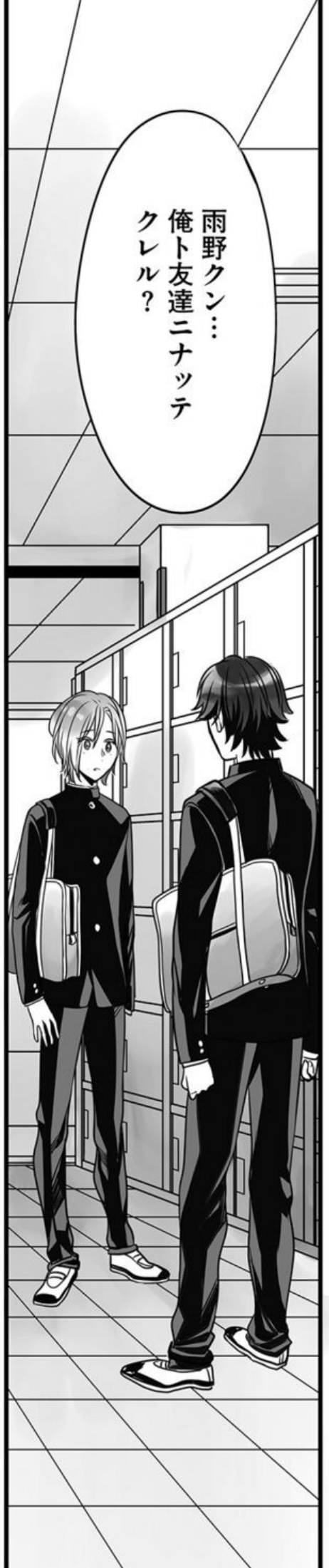
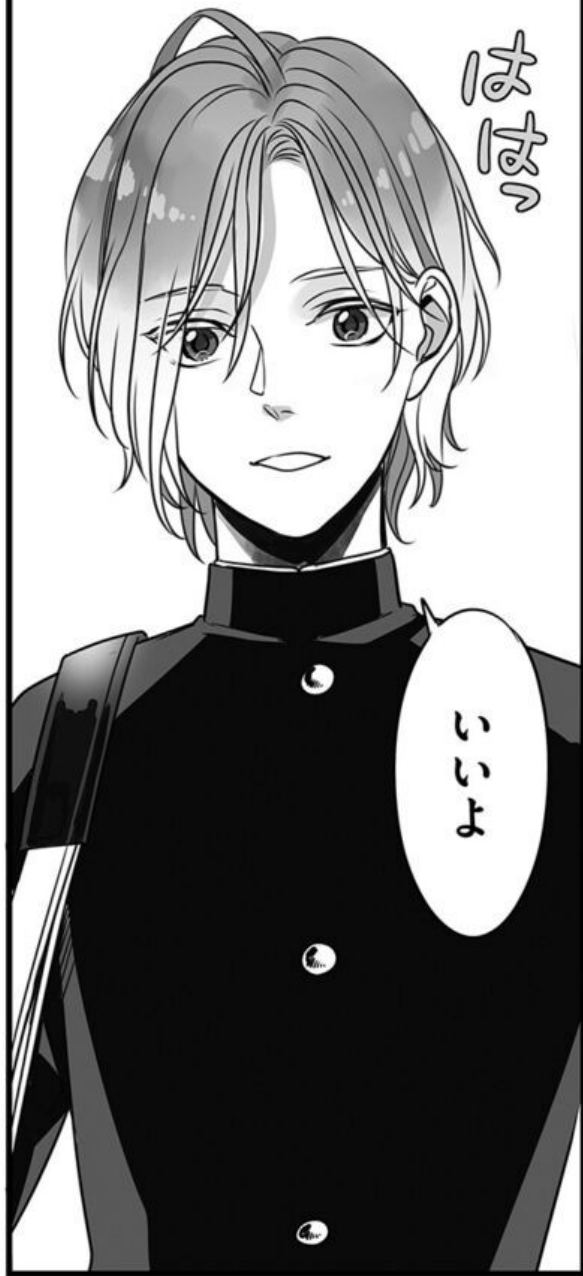
言ったら
思ったら
叶うんだ

あの…



うわっ

ドキ
ドキ



キョーカン

びっくりしたよ
急に友達になって
欲しいなんて
言うんだもん



雨野ちゃんと俺なんか
ともだちー？

はよー

雨野



一緒に昼飯!?

そうだよね…



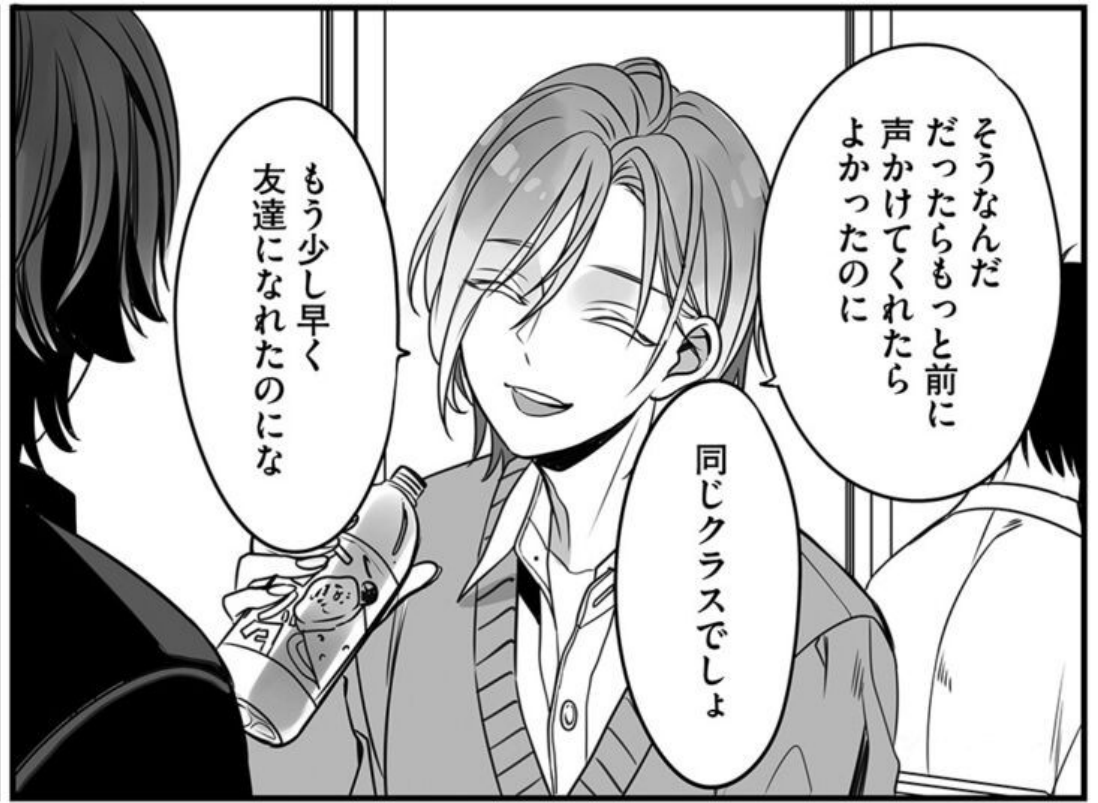
あの…
どんな感じが
した？そう
言われて

んー
友達になろう
って思ったけど

そっか
そんな感じ
なのか

ずっと仲良くして
欲しいって
思ってたんだ





嬉しいなあ

これが俺の望み
とおりになる
ために
操られてる結果
だったとしても

本心じゃ
ないんだって
わかってても
…いいや



凄いなあ

俺の高校生活
変わっていくのかな



半分食う？



一緒に帰ろっ



ねみ…



あっ
メンチカツパンじゃん

おう

入っていい？





へえ

結構広いんだね

もう住み始めて
るの？

いやまだ



昨日は
夜遅くまで
荷ほどきしてた
から泊まったけど



いいねえ
一人暮らし
わくわくするね
楽しい？



あーそれで
あそこに布団が
丸まってるのか

しまう場所が
なくて…



うん

今日は来てくれて
ありがとう

友達だからね
何も手伝ってないけど
ははは

ズキ

俺が望んだから
じゃなくて…
友達として
自分の意志で来て
くれたのかな…
だいたいな

大学かあ

別々になっちゃうね

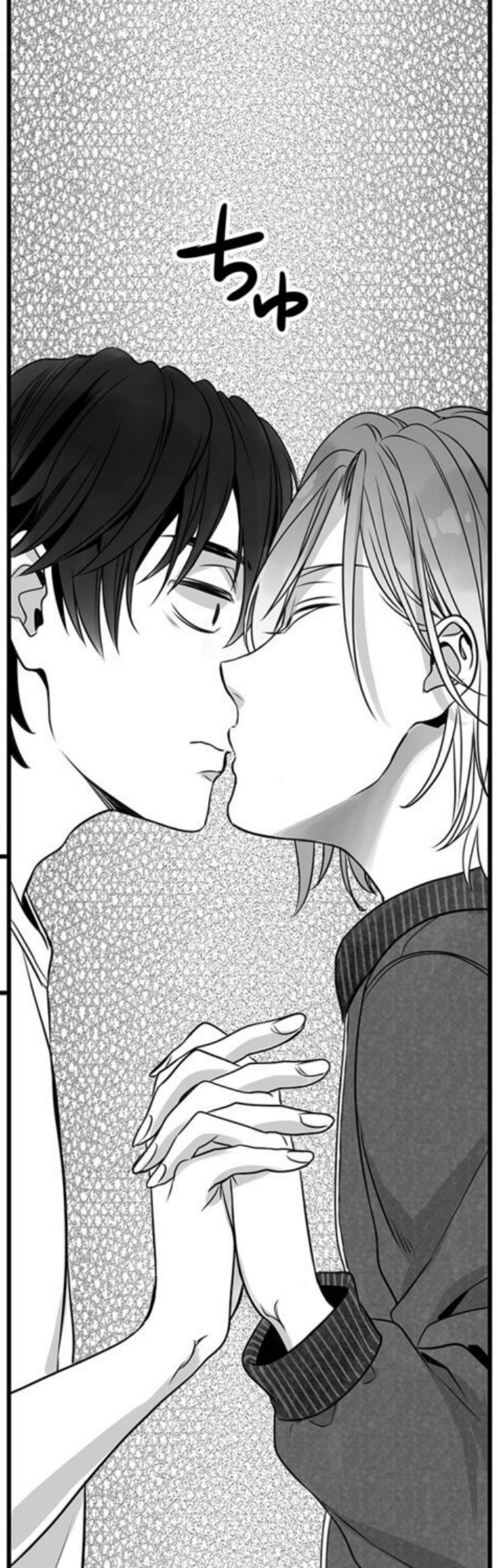
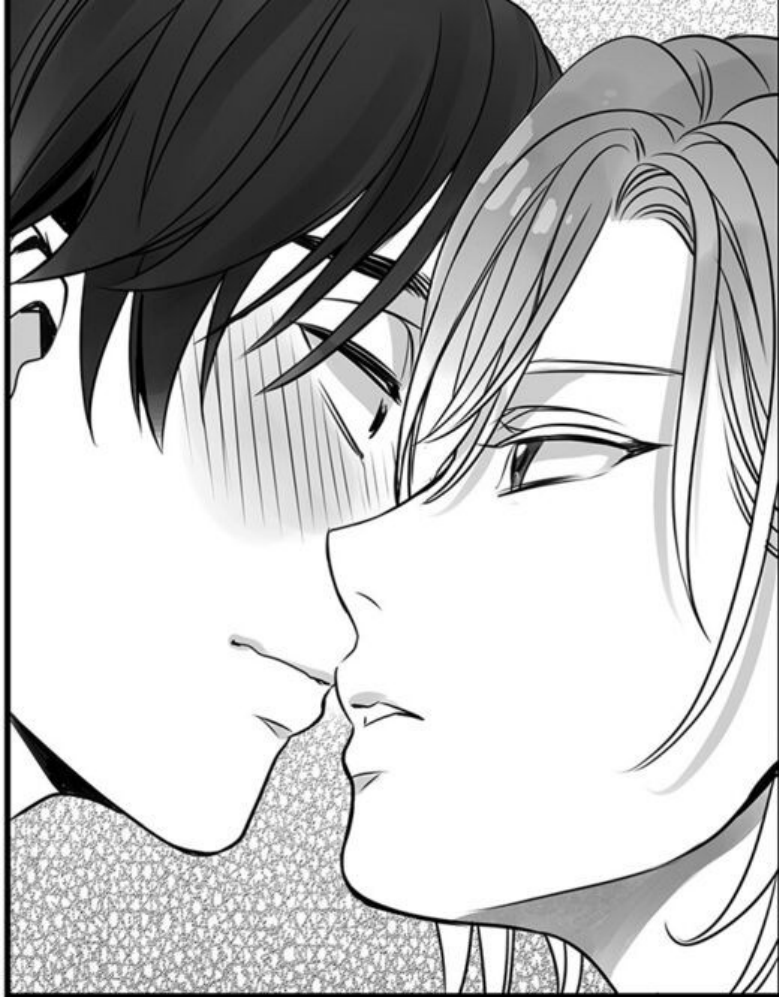
寂しいよね

うん

あ！

ここ桜見えるの？
すごいっ！
いい物件見つけたね！









古瀬?

どうしたの?

なんでこんないい匂い...!

はあく雨野

ギョウウ

ギョウウ



ねえ

ん?

何か...

俺...



雨野

雨野

雨野

ほっ

あまの

欲しい

欲しい

あまのお



うん
いいけど...

雨野ノコト
触ッテイイ?

触ルヨ



ねえ



嫌カラナイデ

触リタイヨウニ
触ル

俺ノ触リタイツテ
思ツタトコロラ



ちゅ



す

あ



手
震えてるよ？

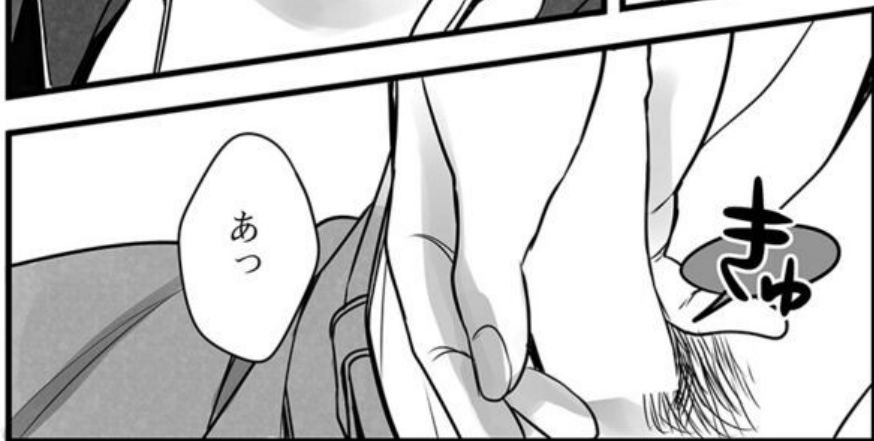
おろ

うん

どんな感じがする？

くすぐったいかな

はは



まゆ

あつ



今から言うこと
笑わないで

?
笑わないよ

雨野気持チヨク
ナツテ欲シイ

うん



俺ノモ触ツテ

おろ



するん



雨野も硬く
なってきたよ

うん

ブリ
ブリ



大きくなってる

十
十



ちゅう



でもうん
いいよ

ぐい

抜きっこしたいな

何その言い方
おかしいね

あつ…
えつと





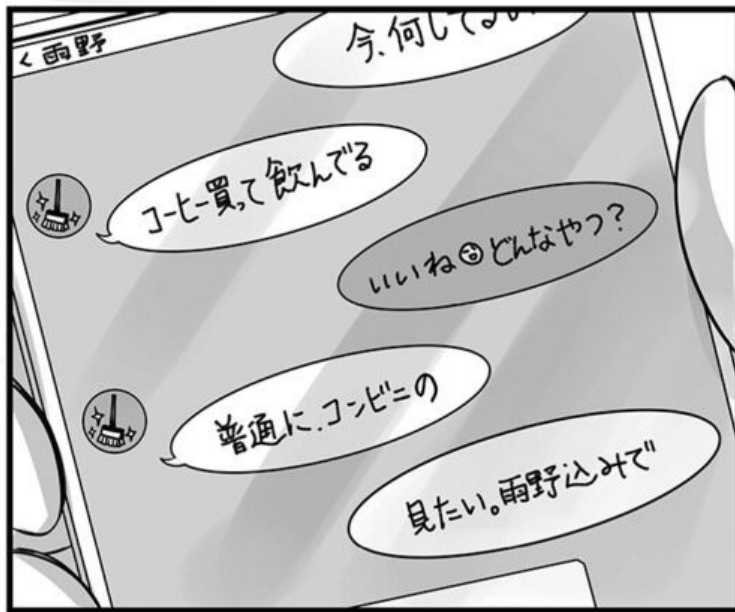


*Ordinary
friends*

第 2 話

普通の
友達







いや
俺はいいよ
遠慮しておく

あ…



いや別に
えっと何？

何？じゃないよ
合コンの話
どうすんの？

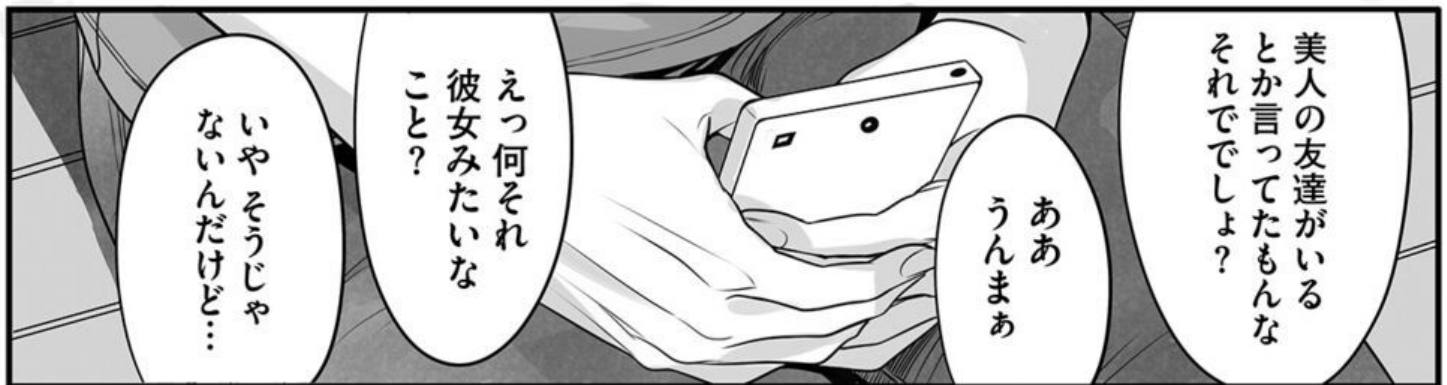
どうせ暇でしょ
数入れちゃっていい？



えーなんでよ
数合わない
だろ！

はは…
ごめん

あー
ホラやっぱりな
言ったとおりだろ



美人の友達がいる
とか言ってたもんな
それででしょ？

ああ
うんまあ

えっ何それ
彼女みたいなの
こと？

いやそうじゃ
ないんだけど…



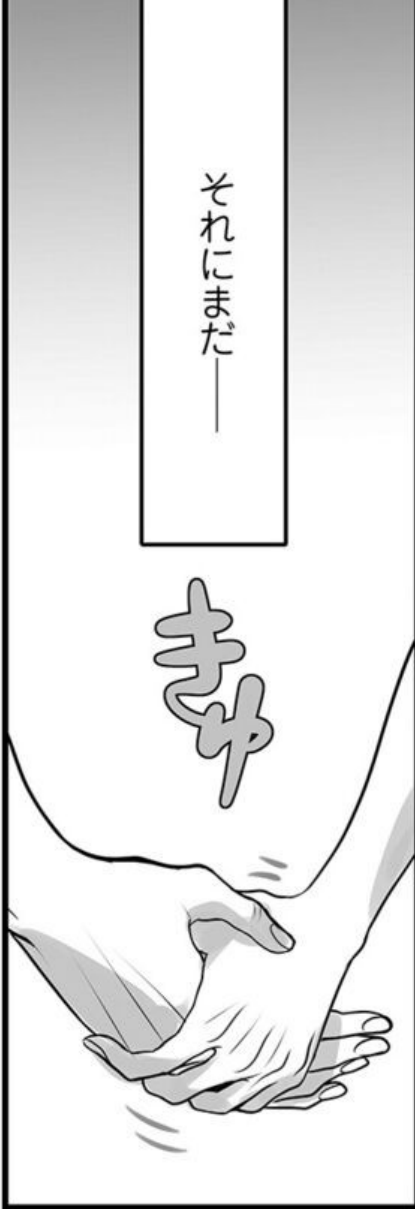
じゃ何セフレ？

違う！

あーごめん
なんだよ怒るなよ

セフレ？
違う！
ふざけるな

そうじゃない
そんな軽い
ものじゃない



それにまだ――

まゆ



雨野もお疲れ

お疲れ〜



俺は本気で^{あまの}雨野の「ト」を――

やっ



体の関係とかそこらまで
行けてない……

――もちろん
したくないわけじゃないけど！

キキ

キキ

キキ



いっ

学校
どうだった？

うんまあまあ

周り頭いいやつ
多くて大変だけど

古瀬だって
頭いいじゃん

そ…かなあ

大学に進学して
学校は別々になっても
雨野はまだ俺に
捕らえられている

自信ないの
よくないぞー

俺がまだ雨野と
一緒にいたいって
望んでるから
離れられないんだ

雨野は学校
どうだった？

古瀬の所はランクが
違うからなく
なんとなくやってる感じ
それより今は学校よりも
バイトの方が楽しいかな

大丈夫…バイト
危険はない…よね？

んーまあ今のところはね
でも学ぶところが多くて
そこは大変かな

すべて俺の
思いどおりだ

忙しかったんじゃない？
呼び出してごめん

んー古瀬が会いたかって
言ってくれたからさ

俺の言うことを断る
わけないもんな

ごめん

なんで謝るの？

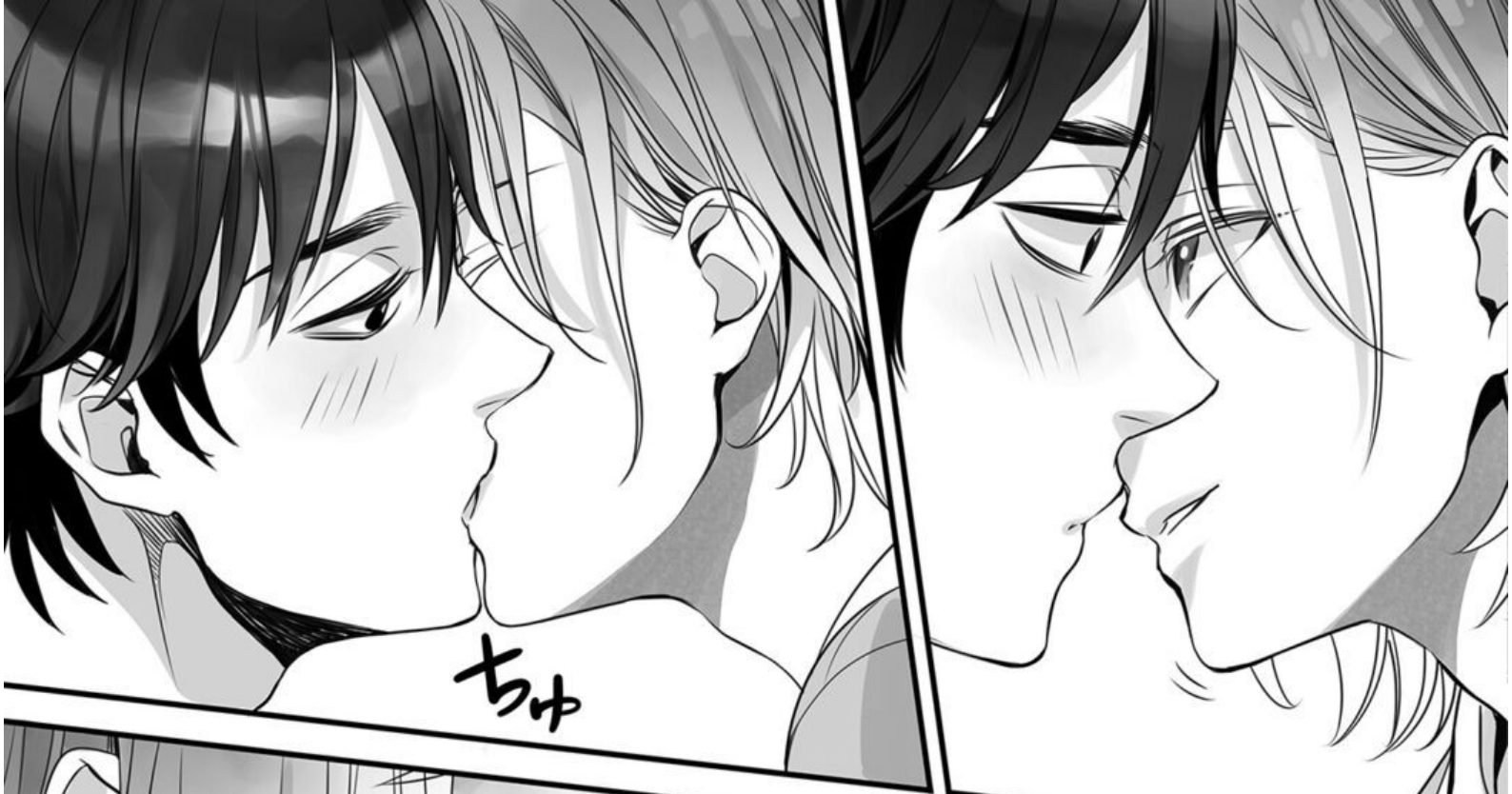
雨野が自ら会いたかって
思ってくれたら
嬉しいのに…

俺だって
会いたかったし

あ…

そうだせつかく
会ったし誰もいないし
チュウでもする？

えっあ…
うん！





雨野の人生を
いじくってるって
罪悪感はあるけど

ここまでしてるし
させてるし
はじめ…なんて
おこがましいけど

このままなんとなく
なんてよくないんじや
ないかって思うし

そっそれに…!

やっぱり雨野と

もっと…
本気で—

だから
言わなくちゃ!



俺とつきあってください!

雨野と恋人同士になりたい!



あせ
あせ

あついや
だからっその

恋人っていうかさ
カップル?
って感じの
あの…そういう…



キョトン

ぷ



ははははは

えっあつ
あの…

古瀬はホント
変なヤツだなく



え…あ
そ…だよ
ね
そっか

俺のつきあいたいって
気持ちがあつたって
ことだよなー



ふー

俺はもうずっと前から
そのつもりだったけど

あつごめ
何を今さら
言ってるの

俺も男だし
気持ちわかるよ

つきあうって
そういうことだし
いいんじゃない？

それに…

俺もキョーミあるし

かかわいいー！

あつ分かってると思うけど
今じゃないよ？
そういうタイミングが
あつたらねってこと

もちろん！

作っちゃる！

そんなタイミングなんて
そんなの…すぐにー

てれ

ぶん



ありがとう!

もい

いちおう準備っていうか
できることは
してきたつもり



ええっと…
こうやって
改めてこう…
目的が明確だと
緊張しちゃうね

そうだね

ははは



…

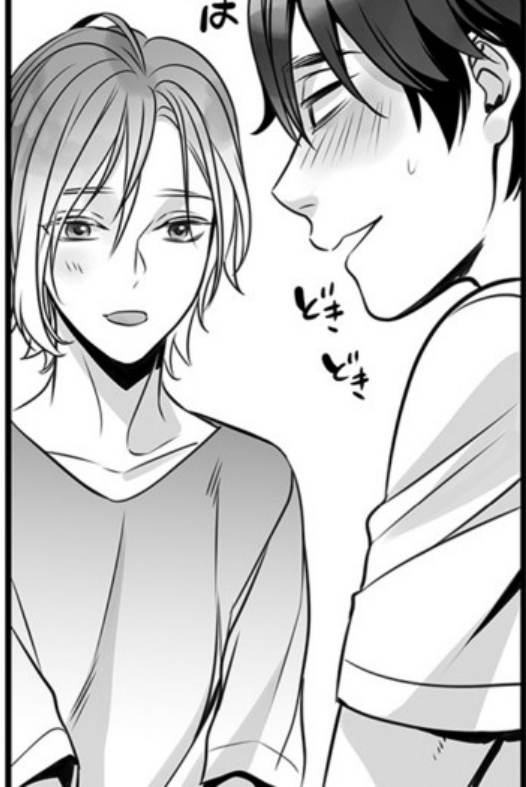
ドキ
ドキ

ドキ
ドキ
ドキ

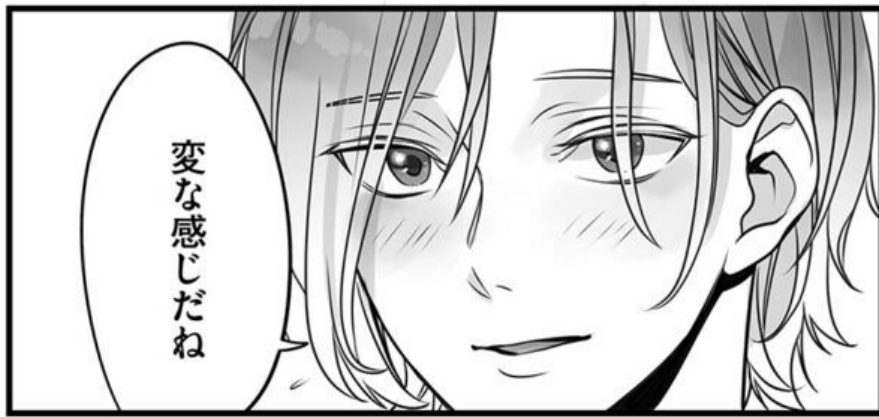
ぽん



さっきお互い
シャワーも浴びたし



ドキ
ドキ



変な感じだね



あのさもう一度確認したいんだけど古瀬が俺に入れたいってなのでオケ？

うん！



ああ雨野は可愛いなあ綺麗だなあ

優しいなあ好きだなあ

キゅ

ううん



俺にHな気分になって俺で気持ちよくなってくれたらいいな



変な感じって俺がHな気分になって欲しいって思ったから？

ねえチュウしよ



あれ

ひく

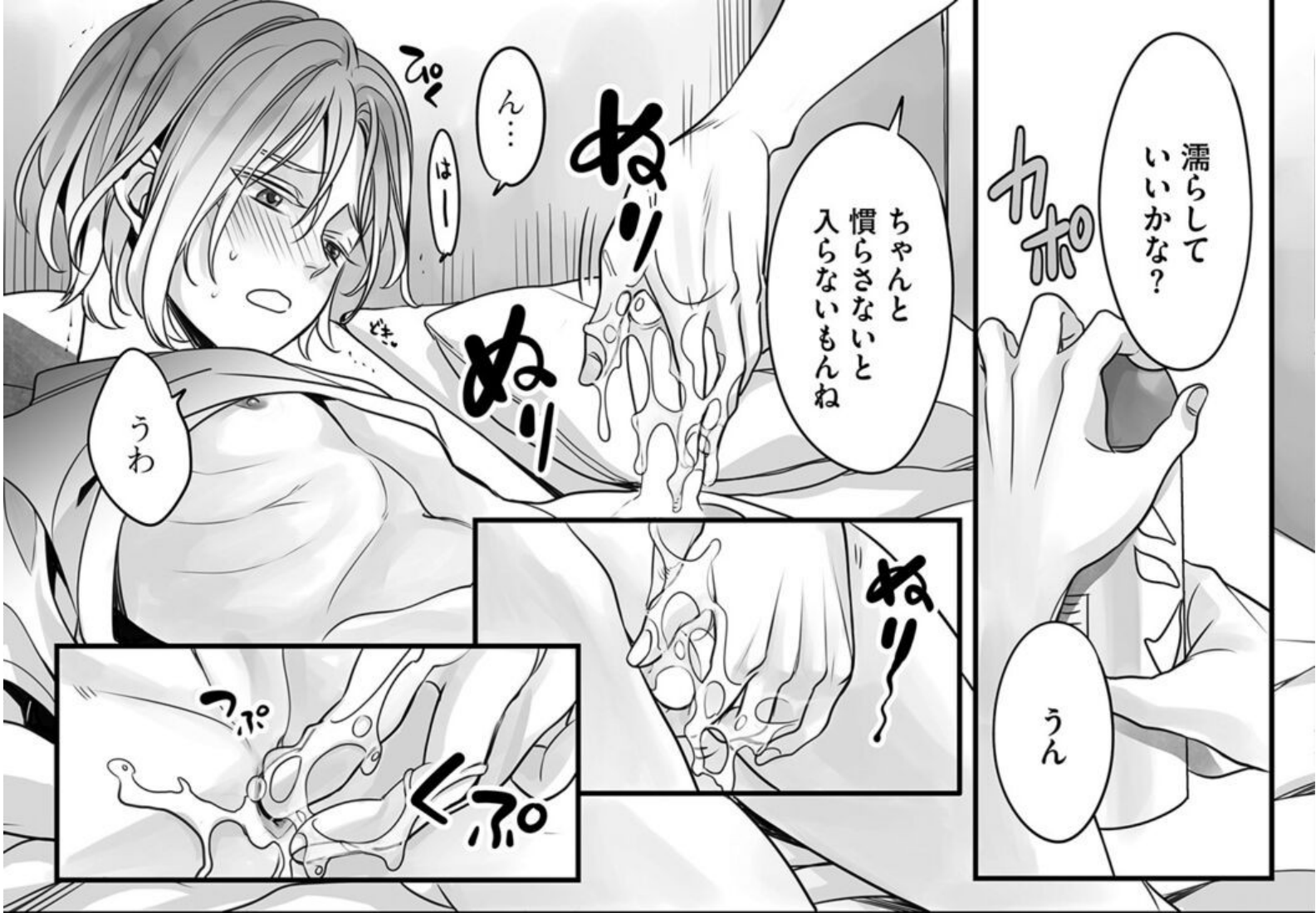
急になんか…

もいもい

変な感じになってきた

もい







サワリタイ

イレタイ

イレタイ

はま

サワリタイ

サワリタイ

何?

はま

はま



もう
入れていいよお

アッ!
とん



いいの
大丈夫かな?

へーき
そうな
気がする

あじゃあ
力抜いて

うん...

んっ!

ドッ

ドッ

ドッ

ドッ

ドッ

ん

ん

ん

ん

ん

ん



う…ん

平気？

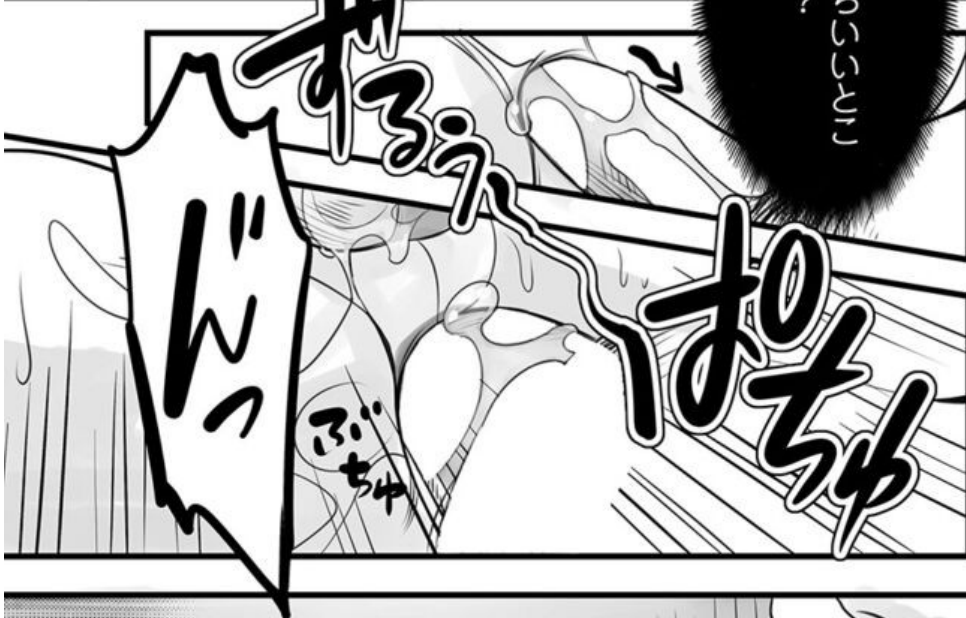
雨野の気持ちいいこと
擦れるかな？



うっわ…

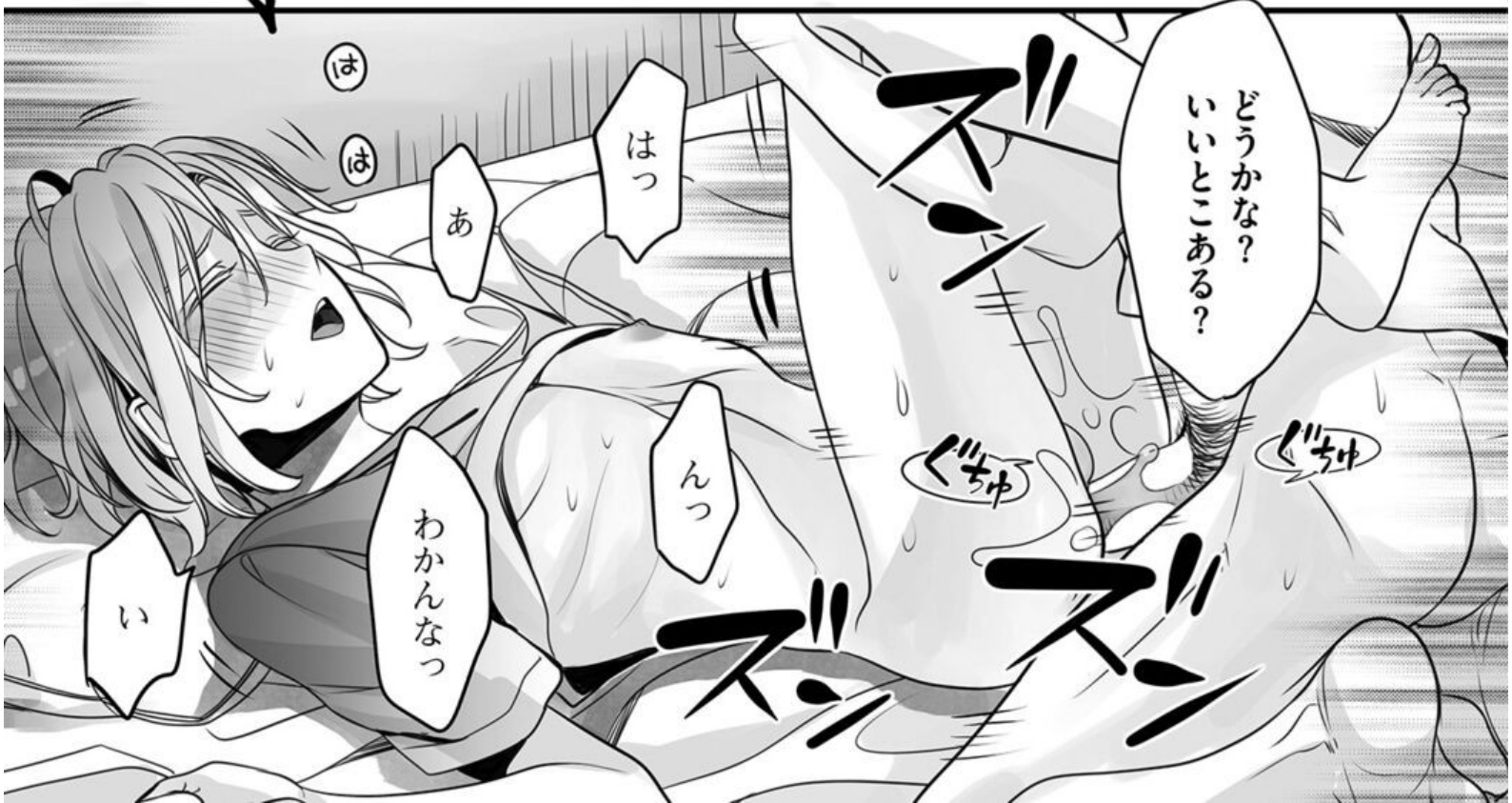
入ったあ〜！

気持ちいい



おろろ

おろろ



どうかな？
いいところある？

は

は

あ

はっ

んっ

わかんない

い

ズ

ズ

ズ

ズ



あ!

ぐわんぐわん



あ、あ

ぐわんぐわん



はっ

はっ

ぐわんぐわん



ぐわんぐわん

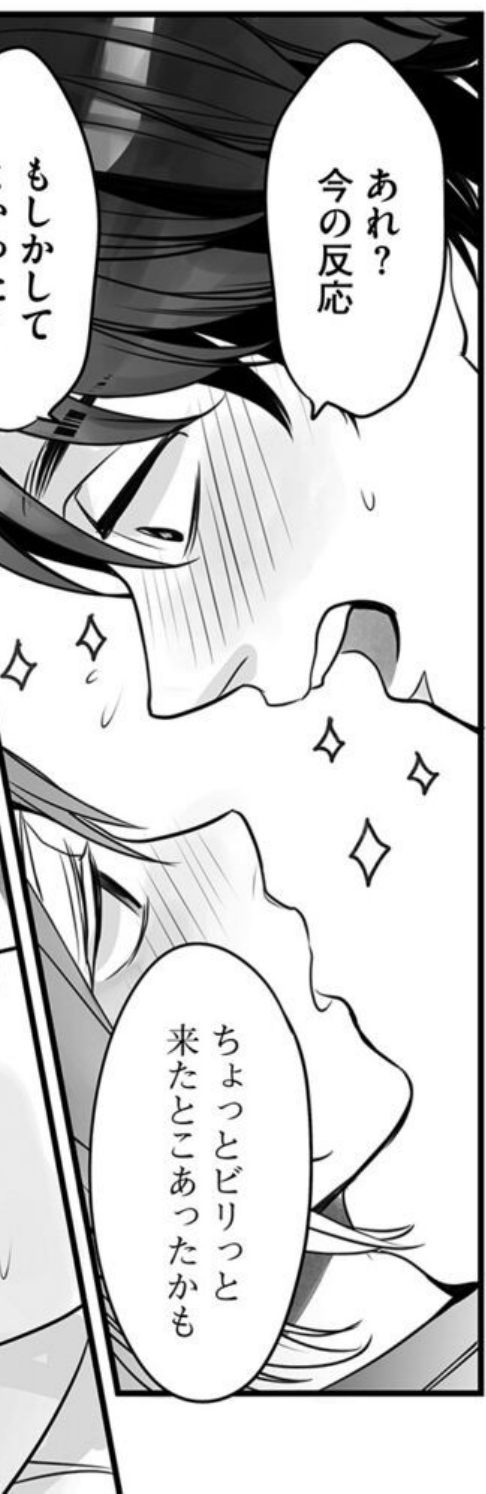
あ

え!
どこだろ

あっ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



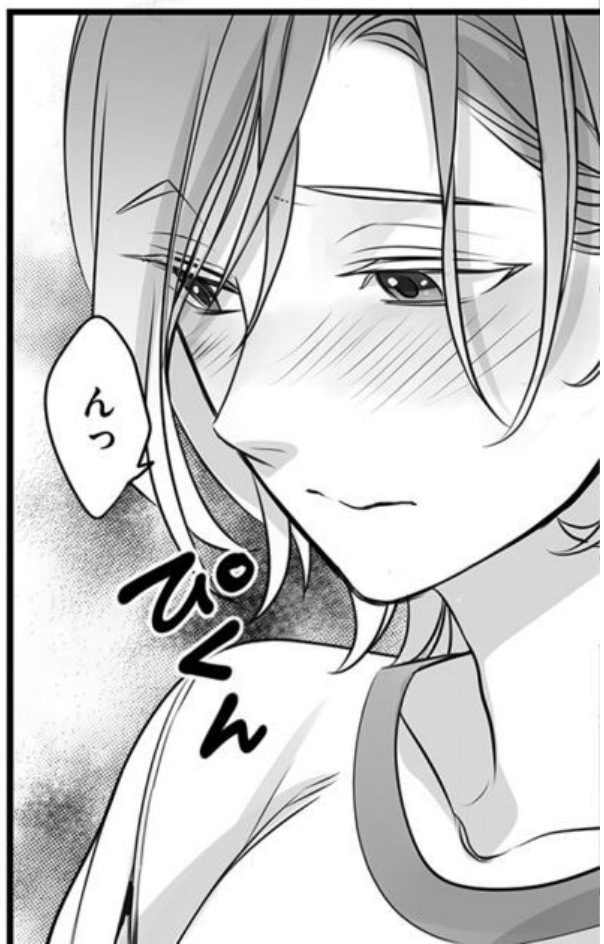
あれ?
今の反応

もしかして
よかった?

ちよっとビリッと
来たところあったかも









こんな：
見られたらどうしよ
サイアク

そ…だね

いやむしろ
見せたい！
見せつけたい！

後ろで
イカせられるのは
俺だけだって

この綺麗な男に
チンコ突っ込んで
感じさせて



雨野お〜！
俺のものだ俺の！



変だな
なんだか嬉しく
なってきちやった



そしたらさー
その先輩が
代わりに運んで
くれてさ

俺はまだまだ
鍛え方が足りない
なって思った



食べちゃえ
いー？

うん



ん？



あれ？
どうした

…別に

ムツとしてない？
怒ってるでしょ

怒ってない
…けど

他の男の話なんて
聞きたくないかな
というか…その



かわいいなあ
古瀬は

ごめんねえ
お詫びして
あげよっか？



いや別に
そういうわけでは
ない



あ…
嫉妬したんだ



ええ!?

なめ...!

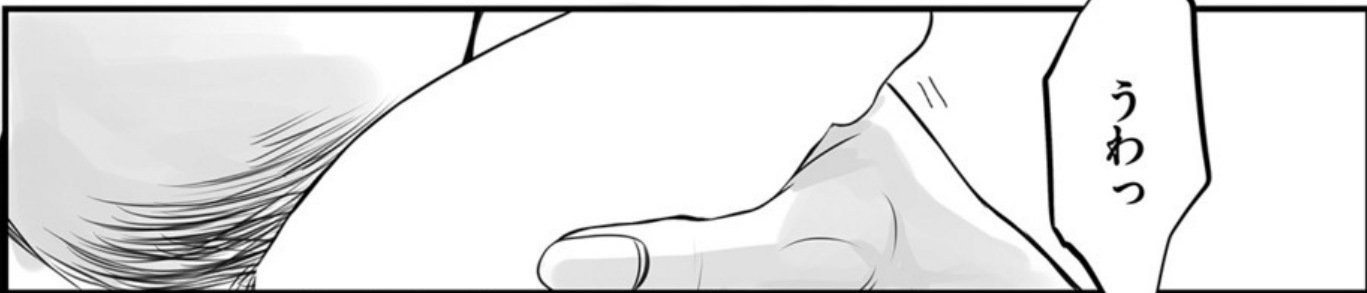


お詫び?

そんなこと
して欲しいって
俺考えてたっけ?



舐めてあげる



うわっ



うわあ!

は、ふ、ふ

ん♡

103

ち3

103

俺こんなこと
望んでた？

フェラして欲しい
なんて考えた？

願望がなかった
わけじゃないから
無意識の望みが
叶ったってことか？

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

うっ
雨野おっ

ちゅぽ

ヒョク

!

いつでも笑ってくれるし
楽しんでくれるし

こっやって意識外の
こともやってくれる
気がするから……

本当に本心から

俺のこと好きって思っ
てくれてるんじゃないか
って

希望を持ってしまう

びく

びく

びく



そんな…
雨野がそんな怖い目に
あつてたなんて

サイテーだよ
なあいうの

勝手に人の体
触ってきたりして

しかも全然面識のない
赤の他人の体だよ

いや面識があつても
ダメか

無理矢理自分の
欲望を通そうとする
とかクズでしょ



俺のことだ

無理矢理サイテー
それって...



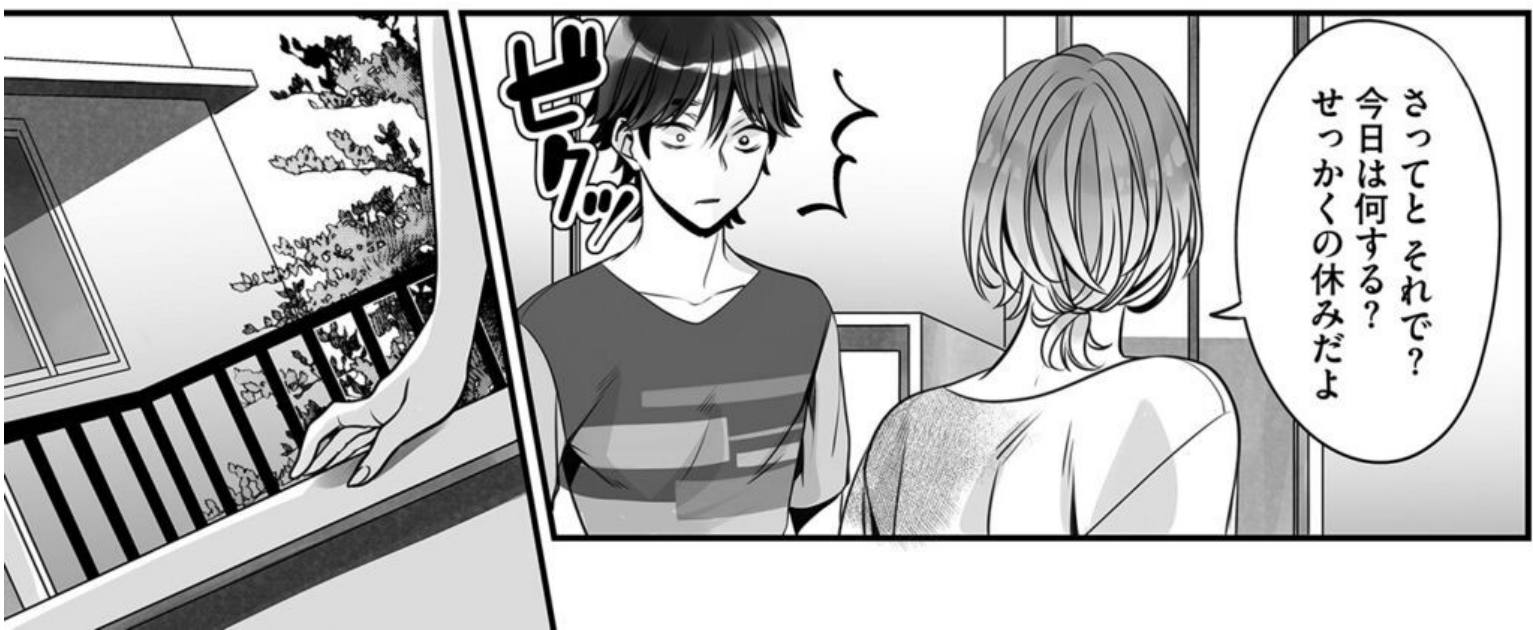
人をなんだと
思ってたんだろな

だらだら

だら

だら

そ...だね





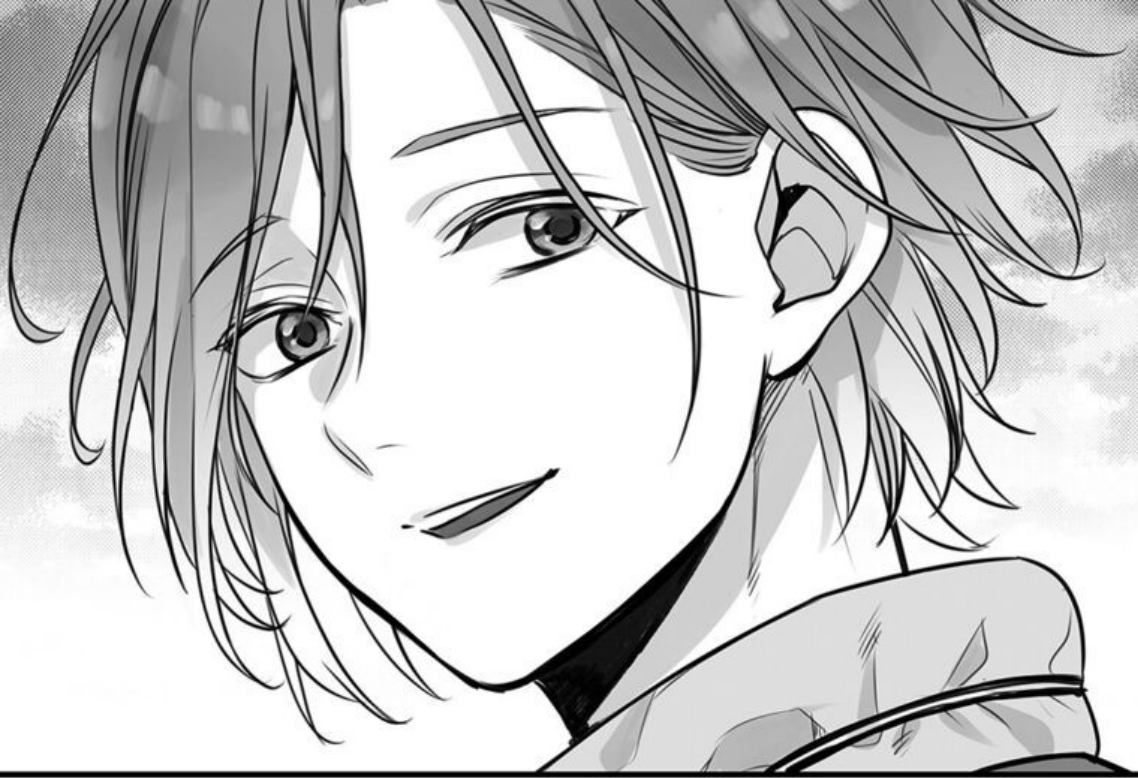
Ordinary
friends

普通の 友達

第 3 話



あまの
雨野が笑ってくれてる



俺を好きでいてくれる
気持ちもすべて
ニセモノの感情なんだ



でもこの笑顔も
俺を信頼してくれてる
表情も雰囲気も

俺たち少し
距離を置こう

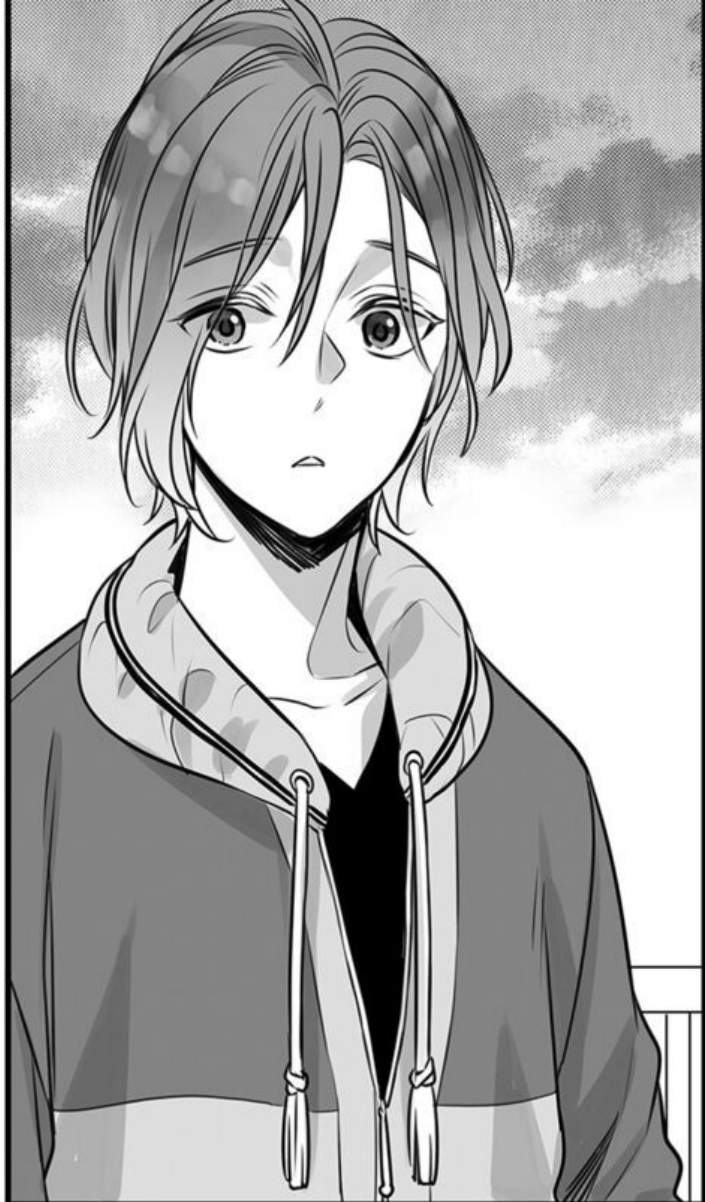


雨野

ん？

これは虚構だ







終わらせようと思えば
こんな簡単に終わらせ
られるのか

カチャ

淋しい…けど
淋しいって感じることを
おこがましいよな

そもそも元から
好かれていたわけじゃない

この力が無かったら
接点すら持てずに
終わってたよ

ダメだダメだ！

人の体を勝手に触って
思いどおりにしようと
するなんてサイテーだよ

…やっぱり取り消そうか
今までどおり普通に
つきあおうって…



はあ



俺のやってることは
痴漢と同じサイテーな
ことなんだよ

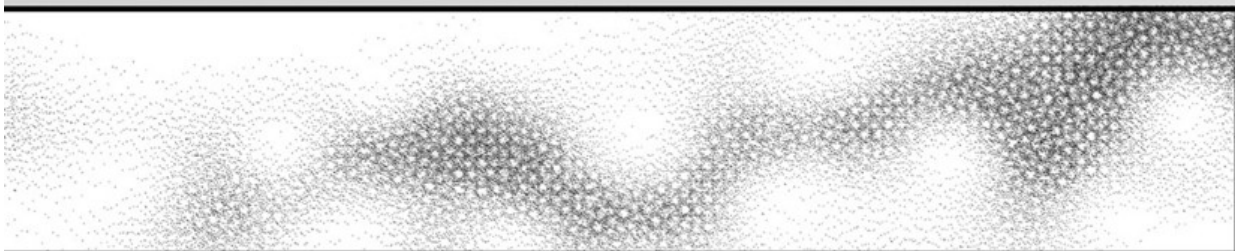
それなのに別れよう
とも言えず 距離を置く
とか言ってる情けない!

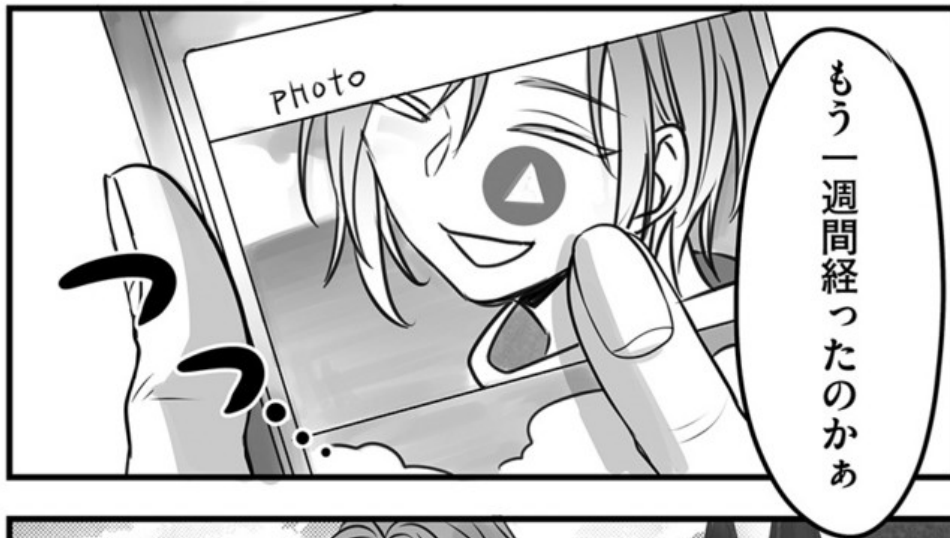


未練を断ち切ろう!
この後もう会えなくなっても
いいじゃないか!

だってそれが普通に
俺が歩んでくる人生
だったはずなんだ!

雨野が側にいた
これまでが異常
だっただけなんだ!
忘れる忘れる!



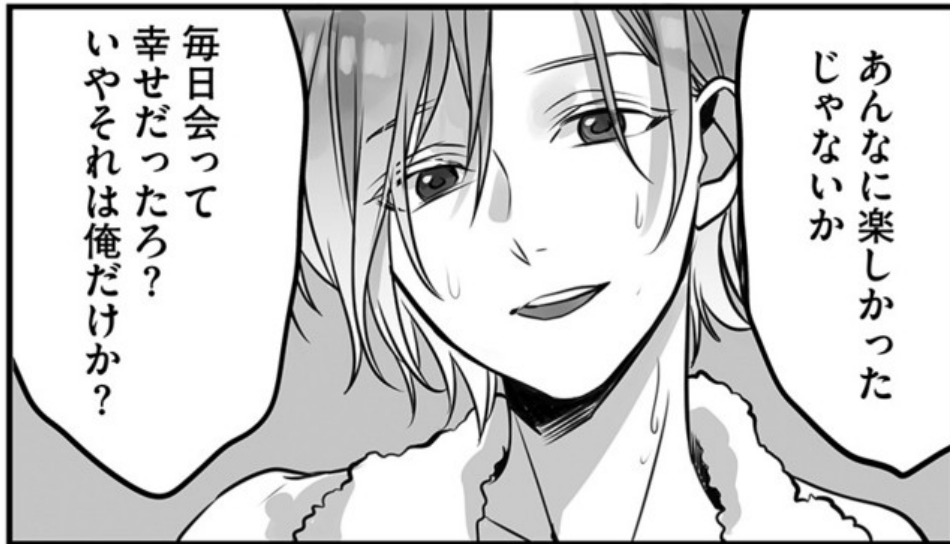


もう一週間経ったのかあ



いろんな所
行ったなあ

これらは
思い出として雨野の
中で残ってくれて
いるんだろうか？



あんなに楽しかった
じゃないか

毎日会って
幸せだったろ？
いやそれは俺だけか？



未練タラタラ
じゃないか
忘れるって
決めたのに

はあはあはあ



だけど

さあ

だけどさあ!?

すぎだよ古瀬

いくら俺が距離を置きたい
終わりにしなきゃって
思っても

あんなに沢山愛情表現
してきたし繋がりがあって
感じてた

確かに想いは通じ合ってた
気がするんだけど？
そんなあっけなく無かった
ことにはできるもん？

今までの時間で愛情って
芽生えたりしないわけ？
一回くらい連絡くれても
よくない？





俺との時間はそんなものだったのかよ雨野!







まさか…ね

雨野…
れ連絡しなきゃ…

何もない
大丈夫
大丈夫



そっち体液滑るから
気をつけろよー

体液?
スライムっすよね

体液ってことにな
ってんだよ
合わせろって



ここすごく
散らかってますね

あーそこ
どかさないと無理だな

体感型ア



雨野！危ない！



!!
雨野!?



雨野返事くれよ
どうしたの？ねえ

待て…さっき俺
何言った？
俺何を願った？

雨野！

「いなくなっちゃえはらうさ」







えっ何?
泣いてんの!?

うっうっ…
よかったあく
無事でいてくれて

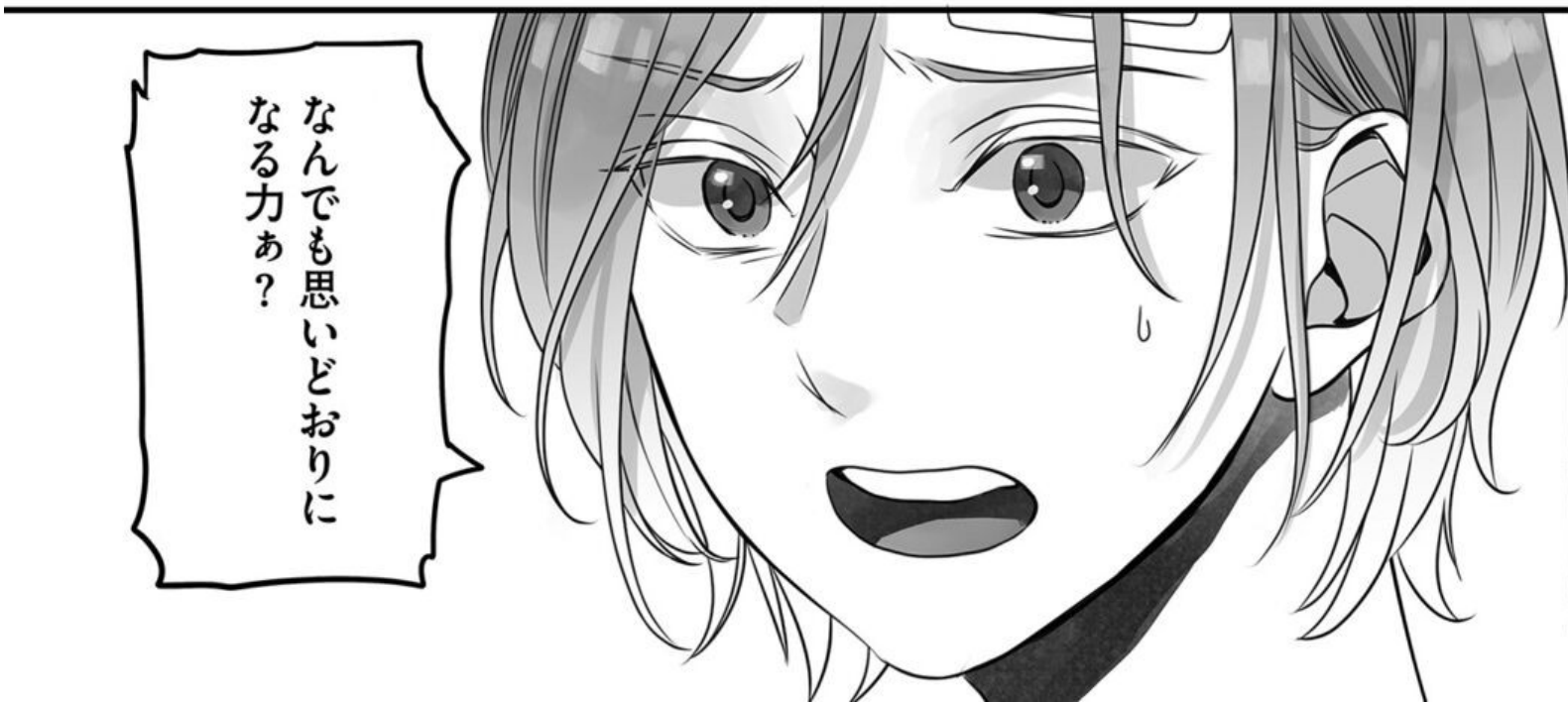


ええく
何?
なんで?

だって…ごめん
俺のせいだから

はあ?なんで
俺の怪我が古瀬の
せいなんだよ

だって…
実は…



なんでも思いどおりに
なる力あ?



俺には不思議な力があって
なんでも思いどおりに
できるんだよ

本当につ！



ええつと
映画か何かの話？
じゃなくて自分のことなの？
ガチで言ってる？
あつ俺のこと元気づけようと
してくれてるとか？

嘘じゃないよ！
作り話でもない！
本当なんだって！

ひき



正気で言ってる？



もちろん正気だよ

これは高校の時
ある日突然起こったんだ

最初は
なんでも思いどおりに
なればいいのになあ
なんて

ありふれた気持ちを
抱いていたんだけど

ある日それが本当に
起こるようになって

きっと俺みたいなの
みじめな男を憐れに思った
神様からの贈り物ってやつ
だと思った

それですっと気になってた
雨野と…その
友達になりたいって
願ったら

声かけてもらって
友達になれて――

そしたらもっともって
欲が出て

それで今みたいなの
関係になってるんだよ



いやそれは俺が…
その雨野が他の男と
いるのを見て

俺以外の男といる
雨野なんかいなく
なっちやえはいって
思ったから…



だからその傷も
俺のせいなんだよ

え？
これは自分の不注意で
怪我したんだけど？



こんなふう
に怪我させちゃって
ごめん！



ええくく?!

もちろん！
すぐ取り消し
たけど！

ええくく



それに雨野が
こうやって今も
俺といるのも
俺のせいだから
ごめん

本心じゃないのに
俺なんかと

雨野の気持ちに
介入したんだ

高校の頃からずっと

…つまり
俺は操られてたから
古瀬とつきあったた
って言いたいの？

…うん

はあ

真面目に語ってるとこ
悪いけどさあ ホント

バカにすんなよ？

俺は自分が古瀬と
友達になりたいから
友達になつたし

つきあって欲しいって
言われたのも嬉しかったし
だからつきあったし

その気持ちも全部
嘘だって
言うつもりかよ！

それは…
でも

それにつきあっていく中で
シたいて思ってたから
シただけど…

それじゃ
ダメなのかよ！

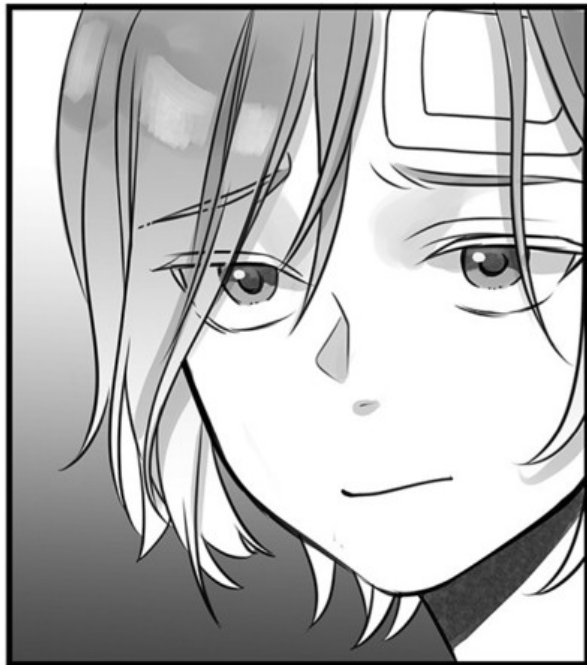


でもそれも
俺が望んだ
からで…



あ~~~~もう!!

うちゅっ



どう? 今のキス
したいって考えてたか?
俺がしたくてしたんだけど?

あ…

それは…でも
いつもキスしたいって
思ってるから…かも

それじゃ俺に
別れようって
言ってみてよ

それは…

いいから!

嫌だね!

わ…

別れよう

古瀬ともっと
いろいろしたいもん!

ほらね
思いどおりになっ
てないじゃん?

えっでも…
えええ

まだ納得いってない?
それならいいよ

俺がわからせてやる

オ



はっ

どう?
こうしてほしいって
思った?



あ

あ

あ

ずんずん

あ

あ



はあ

もう
わかんない



...いや...

あれ...もう
どうだったかな

は



はい

俺を気持ちよくして
くれるんでしょ？

怪我してるから
優しくしてね

うん

はか

雨野が望んでる
求めている
俺を？
自分の意志で？

ぐい

びちゅ

あ

あ

あ

は

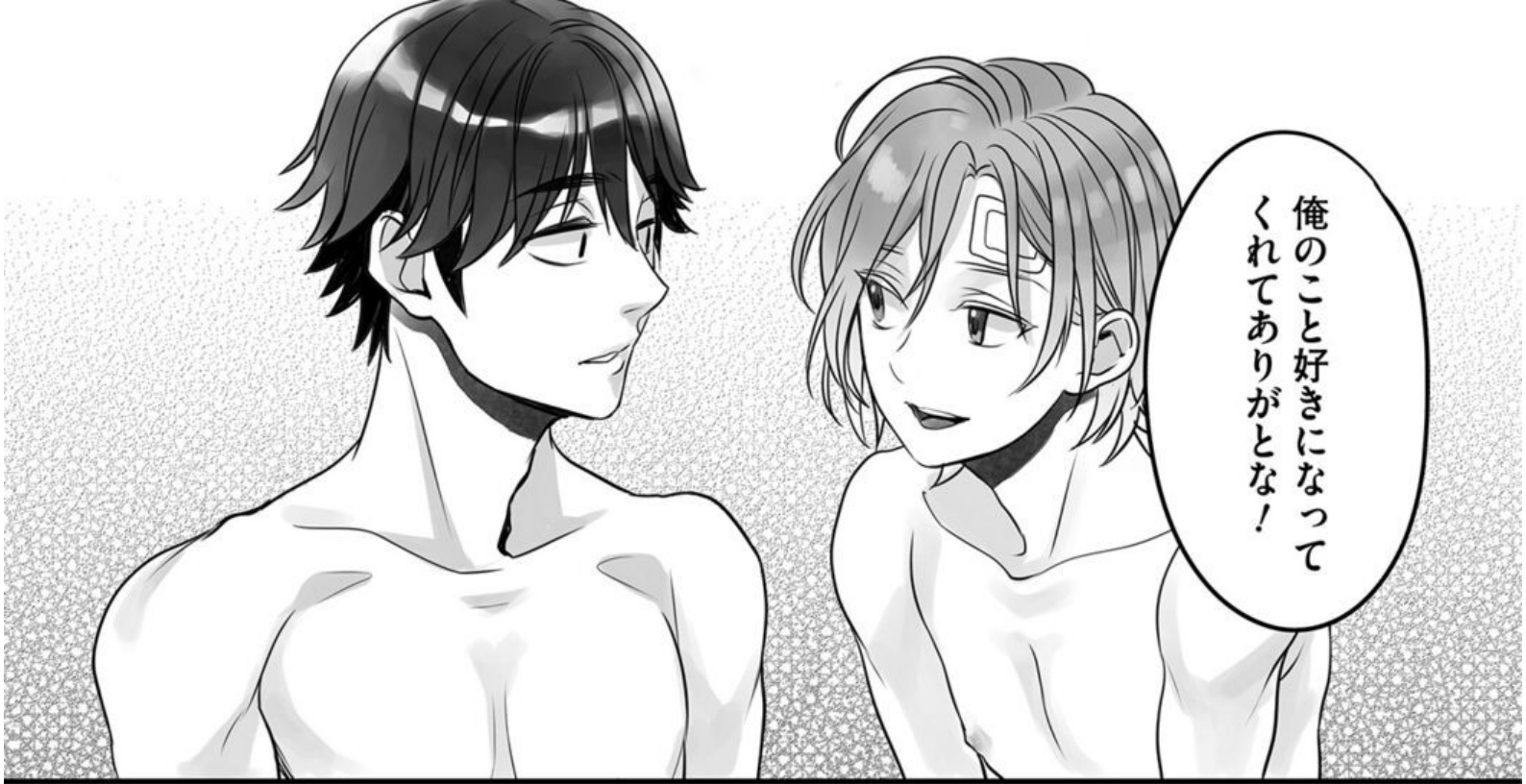
す

す









俺のこと好きになって
くれてありがとな！



うう

はは
ごめんて

ニヤリ



そんなこと言われる
なんて思ってたなかった
雨野が俺を：

ダメだ混乱する
恥ずかしい

不思議な力かくとか
いじったりしないから
安心しろよっ！



うる



責めもしないで
笑ってくれる

ああでも雨野は



この後どうやって
つきあおうか悩ばらんだ



よしよし

泣くなよ〜
はは

あ〜

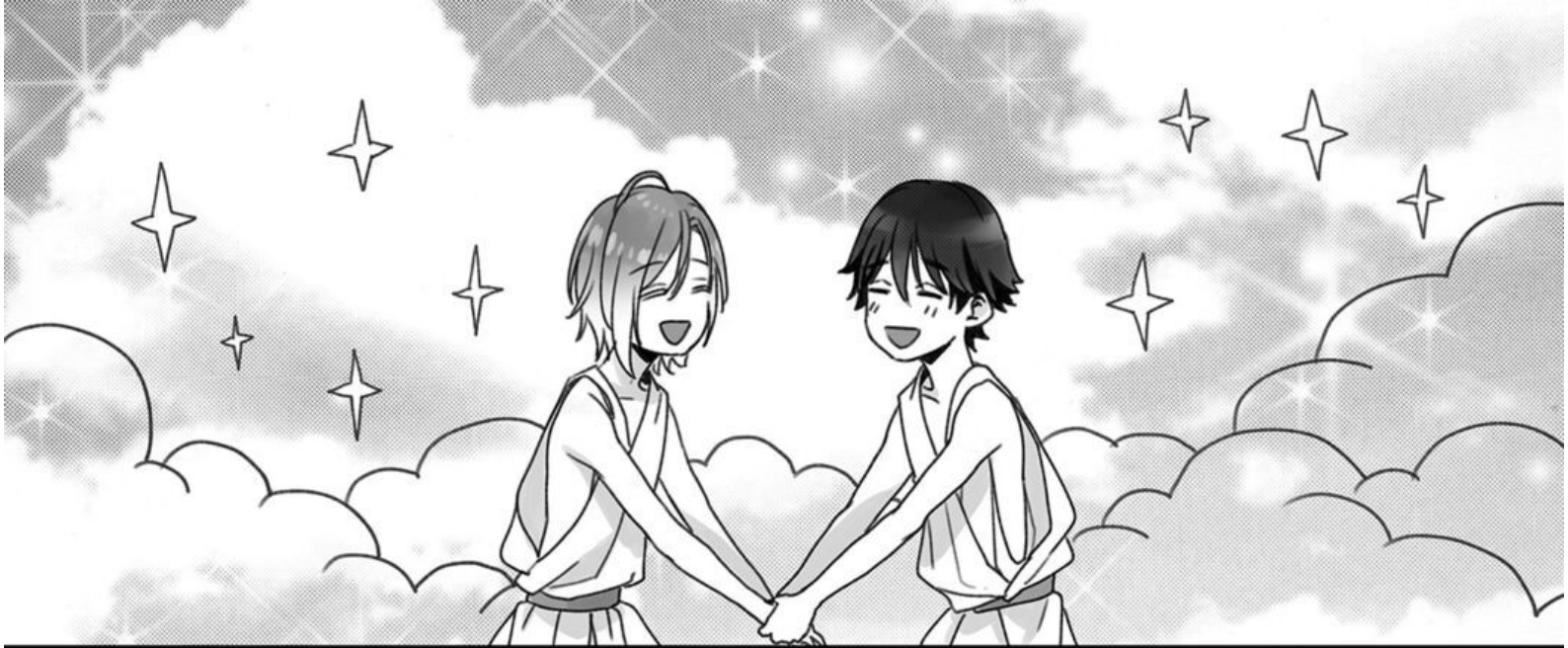
う…ありがと…
好き!

Ordinary
friends

普通の 友達

第 4 話





誰だ!?

俺だよ

…俺?

そうおまえだよ
ふるせすむ
古瀬進

お：俺なのか?
俺がいつたい俺に
なんの用が?

いやあ俺はおまえに
冷静に考えて欲しいん
だよねー
思いどおり?
んなわけないって
わかるだろお普通
今まで気づかなかった
のかよって

俺は心の中でずっと
問いかけてきたんだぜ

何…

は?

一時の気の迷いって
んならまだわかるけど
何年も?マジかよーって
ドン引いてたよずっとね

う…
いや…でも本当に
思ったとおりのことが
起きてたし

ORE

それに!
俺だったら知ってるだろ
理想どおりの数年間を
歩んでこれたって
それにほら!

雨野が俺と
つきあってくれてる
っていうのが

何よりの
証拠じゃないか

つきあってるのが
証拠って：
それは単純に雨野董市が
おまえのことを好きだった
からじゃないの？



は

何言ってるんだよ
そんなわけないだろ！
普通に考えて
俺なんかが雨野と
釣り合うわけがない

いや好きって言って
もらったじゃん

ホラ

好き♡

それは：
言ってたけど



でもそれだって
本当かどうか
わからないだろ



あれだって俺に
言わされてたのかも
しれないじゃないか

ドク

そうだよ
俺に言わされてたら
あれは本心じゃない
……いや！

いやいや違う！
雨野は本当に
俺のこと好きだって！

そう好きだって言って
俺のこと望んで
くれてたじゃないか！

ドク

ドク



ほち

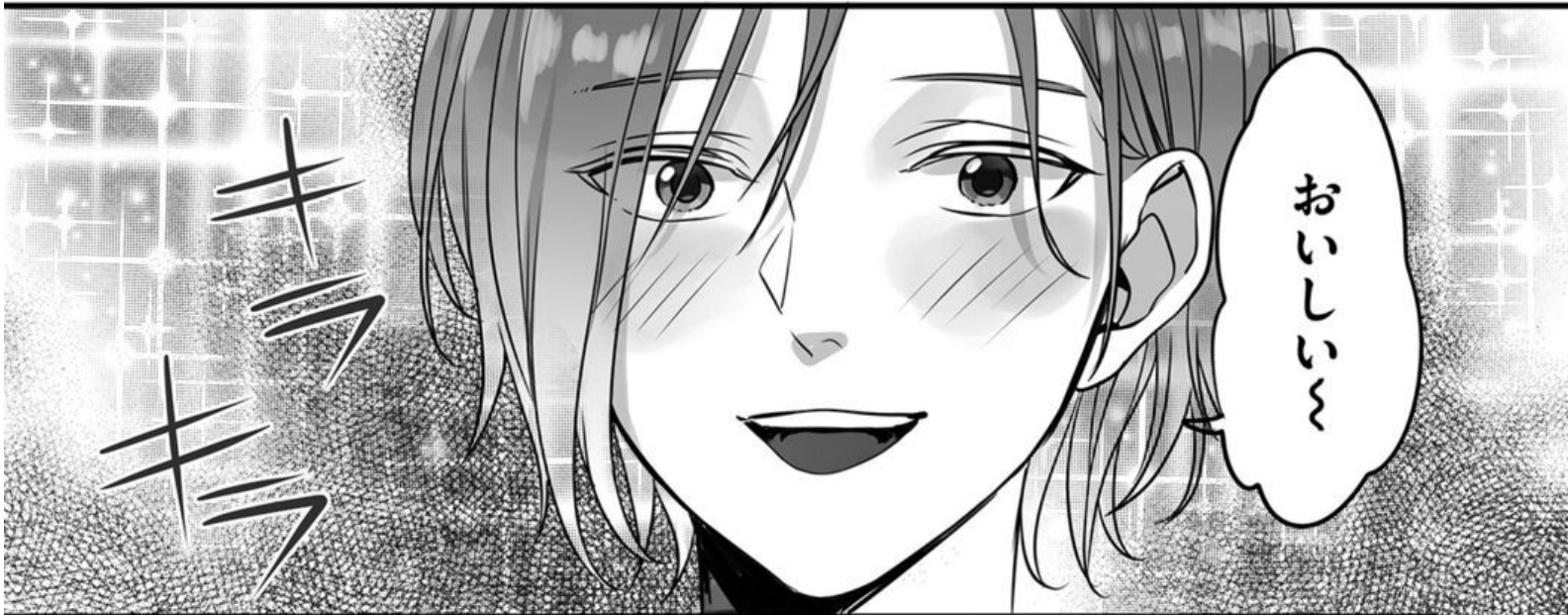
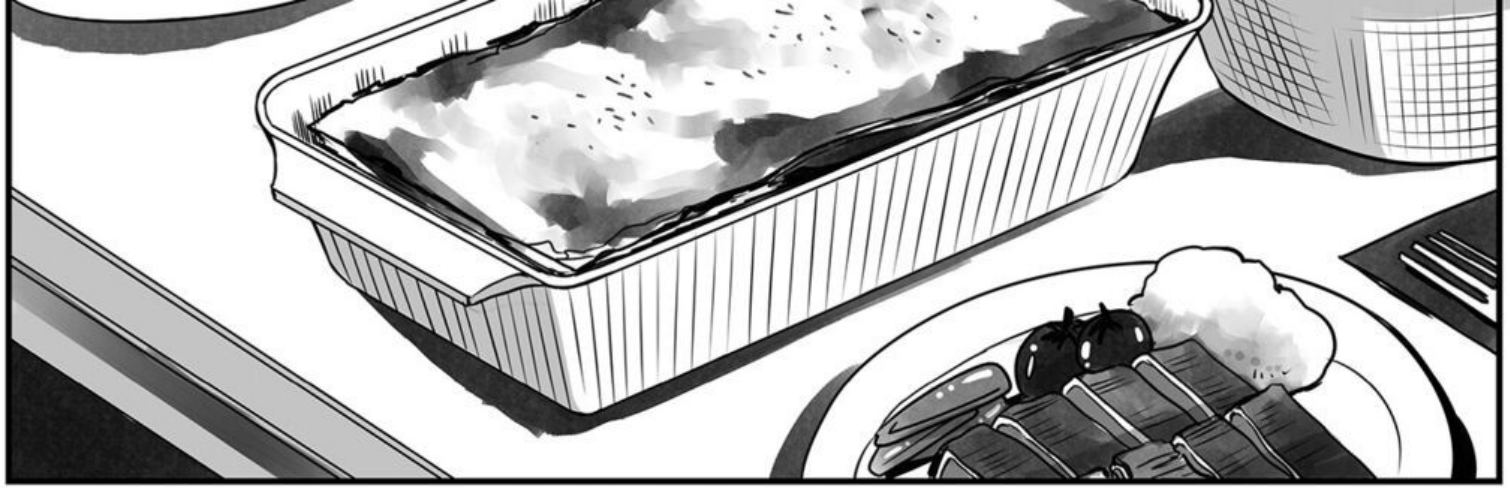
ドク

ドク

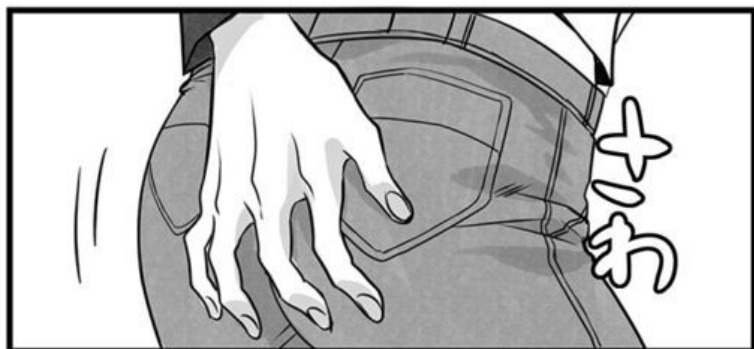


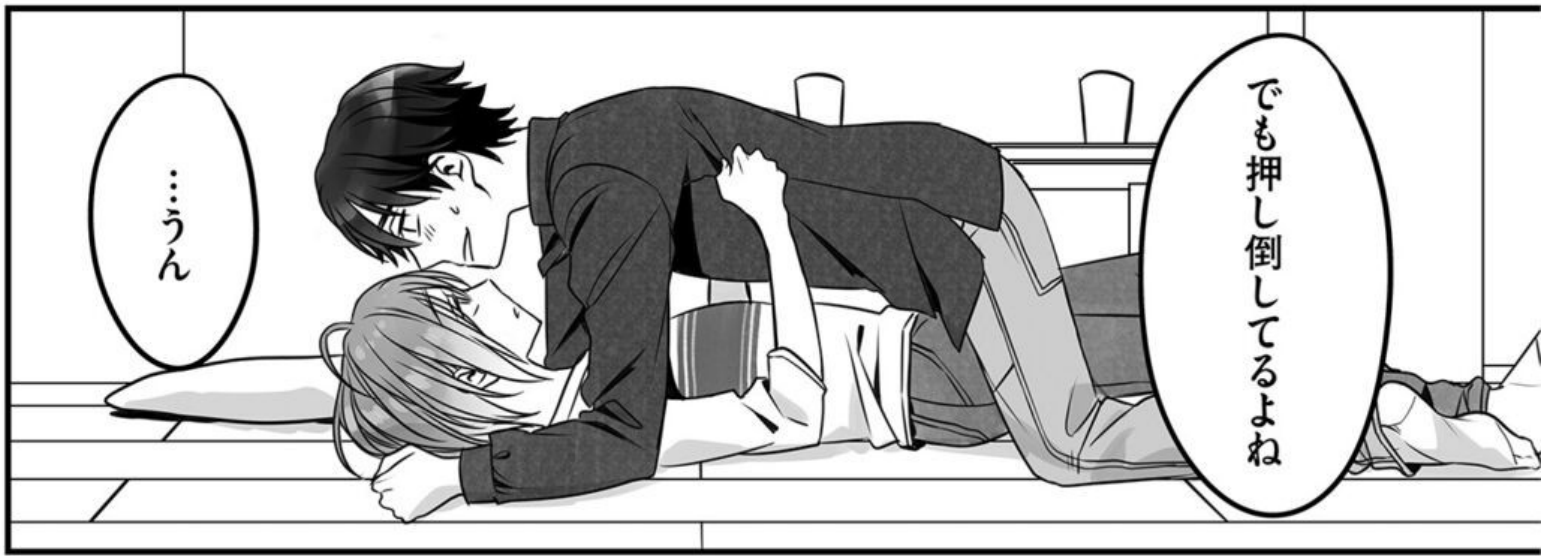












…うん

でも押し倒してるよね



ちゅ

ちゅ

ん



ちゅ

ん

はあく
雨野かわいい
気持ちいい

ちゅ

は

俺の神さま

ふるせえ

ちゅ



そうだよ
思いどおりには
いかない…

なんやね〜

違うんだぞ
今までとは
心持ちが!

ダラ

ダラ



トク



もう思いどおりには
いかないんだぞ

それでもできるの？



できるのか
俺から？
今までみたいに
主導権を
握って？



おーい

へマしたら？
失敗したら？

どうやってたっけ
やばいーこんなので
できるのか

いやーいやいや大丈夫
普通にすればいいよ
今までどおり…？あれ？

いやでも
あれは雨野がリード
してくれたような
もんじゃないか

いやでもこの前
できてただろ
だから大丈夫！

トク

トク

トク

トク



ふくるせ

ごめんやっぱり
ご飯食べよう

あー
うんそうだね
せっかく作りたて
なんだもんね

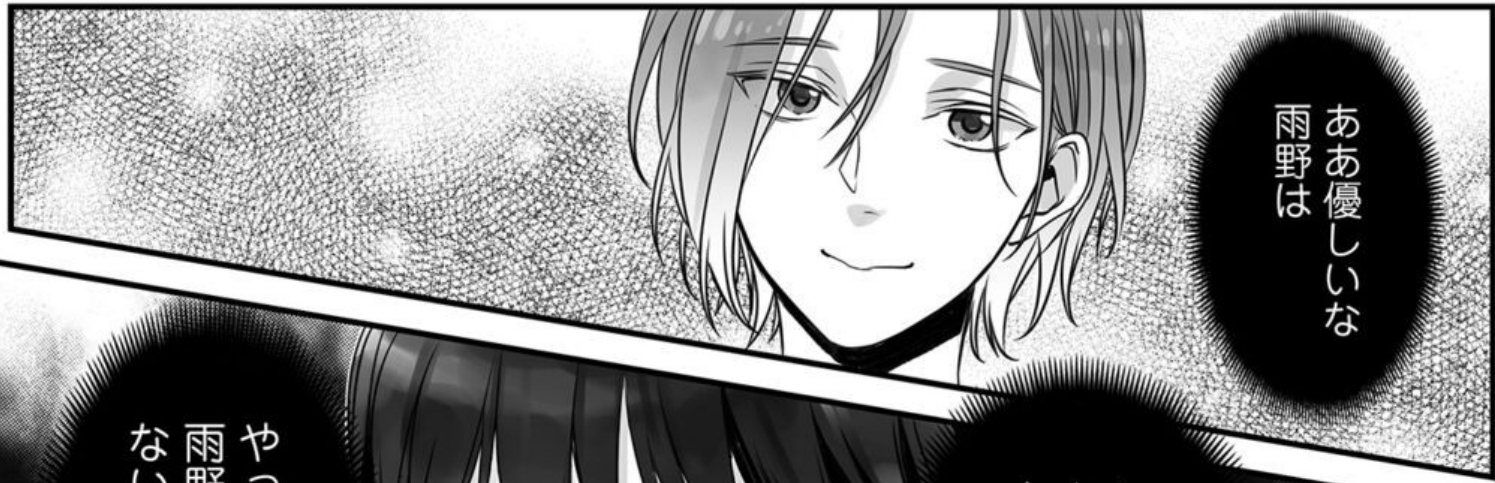


嫌われてしまう
かもしれない
そして最悪
失ってしまう
かもしれない



でも…平気？

何が？
もちろんっ
大丈夫だよっ



ああ優しいな
雨野は



なのに俺は
意気地がなくて
自信がなくて

やっぱり全然
雨野に釣り合っ
てないんだよなー



ダメだ
このままじゃ
変わらなきゃ

んいん

食べよー

わーい



不思議な力があるなんて
思いこんでいた時のような
大胆さを——いやそこまで
望まなくてもせめて

普通に雨野と対峙
できるような

自信の持てる男に
なりたい——
そうじゃないと俺は

この先雨野と
一緒にいても
辛くなるだけだ!

かろろー おー

かわろろー

おー!!



おー

がーん



何やってんだよ
雨野 不安からせて
どーすんだよ!

嫌われたくないとか
臆病で自分のこと
ばかり考えて

なんの行動も起こせない
なんてダメでクズなやつ
なんだ俺は——!!

んー

ねえ
行きたい所
あるんだけど

つきあって
くれる?



そんなに遠く
ないのに大人に
なると行くこと
ないもんね

もうずーっと
遠い昔のことの
ように感じるよ

そうだね



高校？

懐かしいだろー



俺の高校の思い出
っていったら
雨野のことばかりだな

俺は古瀬のこと
ばっかり見てたな

あっ俺も
雨野のこと
ばっかり
……って

えっ
ええん!?



この間は言わなかったけどさ
古瀬が俺のこと思いどおりに
操ってるーとか
勘違いして話しかけてきた
それよりも前から

俺は古瀬のこと
見てたんだよ
気づいてなかった
でしょ？

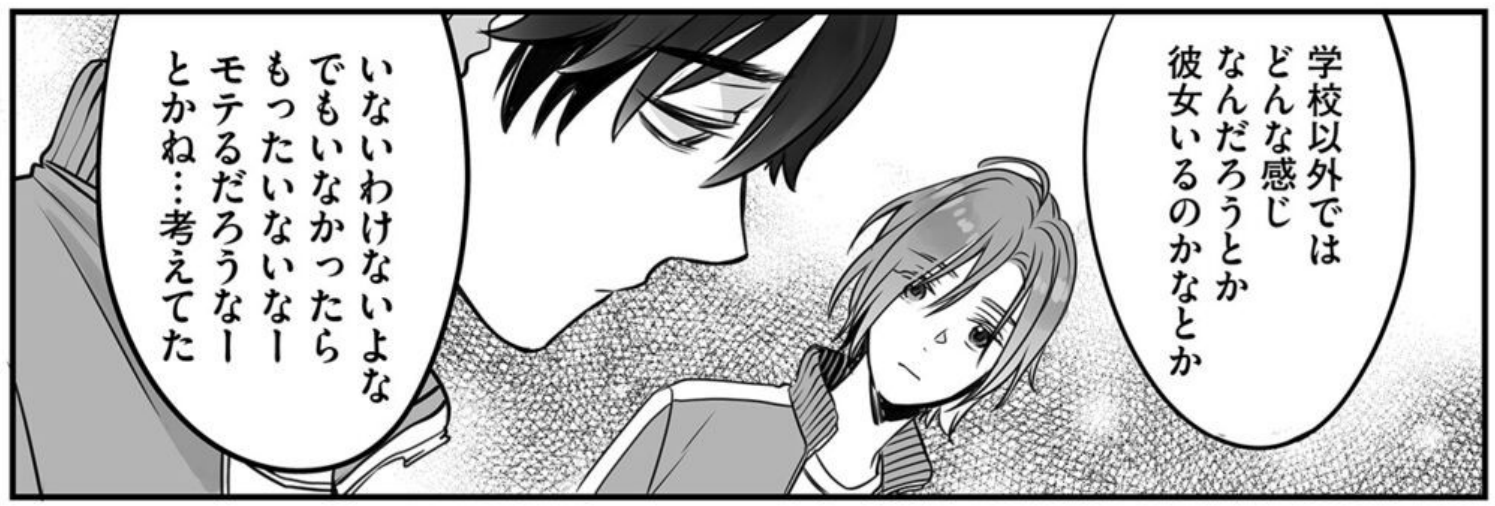
いつもひとりでした
じゃん古瀬って



勉強もできるし
背も高いし
かっこいいから
話したいのになんか
近寄りたいたいんだよなあ
ってずっと思ってた

背が？ 勉強？
かっこいい!?

そーだよお



学校以外では
どんな感じ
なんだろうとか
彼女いるのかなとか

いないわけじゃないよな
でもないなかったら
もったいないないない
モテるだろうなー
とかね…考えてた



卒業したら
誰かのものにな
なっちゃうのかな
って思ったらすごく
嫌な気持ちになっ

どうしてそんなふうに
思うのかって
悩んだりもした

だから声かけてもらった時
嬉しかったしそれで
あーそうなんだって
気づいたんだよね

気づいたって
何をどういう…？



古瀬のことが
好きなんだーって
俺の気持ち



うん
それはね



こんなに好きなんだからさ

俺のこと俺の気持ち
信じてほしい

それからもちろん
ずーっと見てた
操られてなんかいいからね
それに今…今もそうだよ
だからさ



じゃあ少し周辺
散歩してく？
せっかくだしね

うん



う…

うんうん
ごめん々

なで

だから
謝んなくて



サク

サク



雨野が
俺を…？



落ち葉だらけ
だねえ
ここ走ったよね
体育の時にさ

じわじわ
熱くなってきたる
なんだこの感覚
えっとなんて
言ってたえ？
雨野が俺のこと
好きだった？



いいよ

何どうしたの
見られちゃうよ



お?

キリッ
キリッ



雨野…どこか
寄って行かない？

ん…
いいよ
だけど



俺は古瀬の家が
いいな





うん
ごめんね
最近の俺は
ほんと

でもここ最近
してくれなかったから
期待しちやってるよ

いいけどお

くちゅっ

はぁ

はぁ



でも安心して



うん

きゅん



今日は
俺が

サイコーに気持ちよく
してあげるから!

らんらん
らんらん



あ

あ

んっ

おるん

はちゅん

31ty

ほちゅ ほちゅ

ほちゅ

あつ

あつ

はん

はん

待ってねえ
まだあ

長くない？

あつ

やつ
そこ

あーっ

ずん
ずん

ぶちゅ

ぶちゅ

いつちやいそ
なんだけど

はっ

は

いいよ
イって

はん

あ

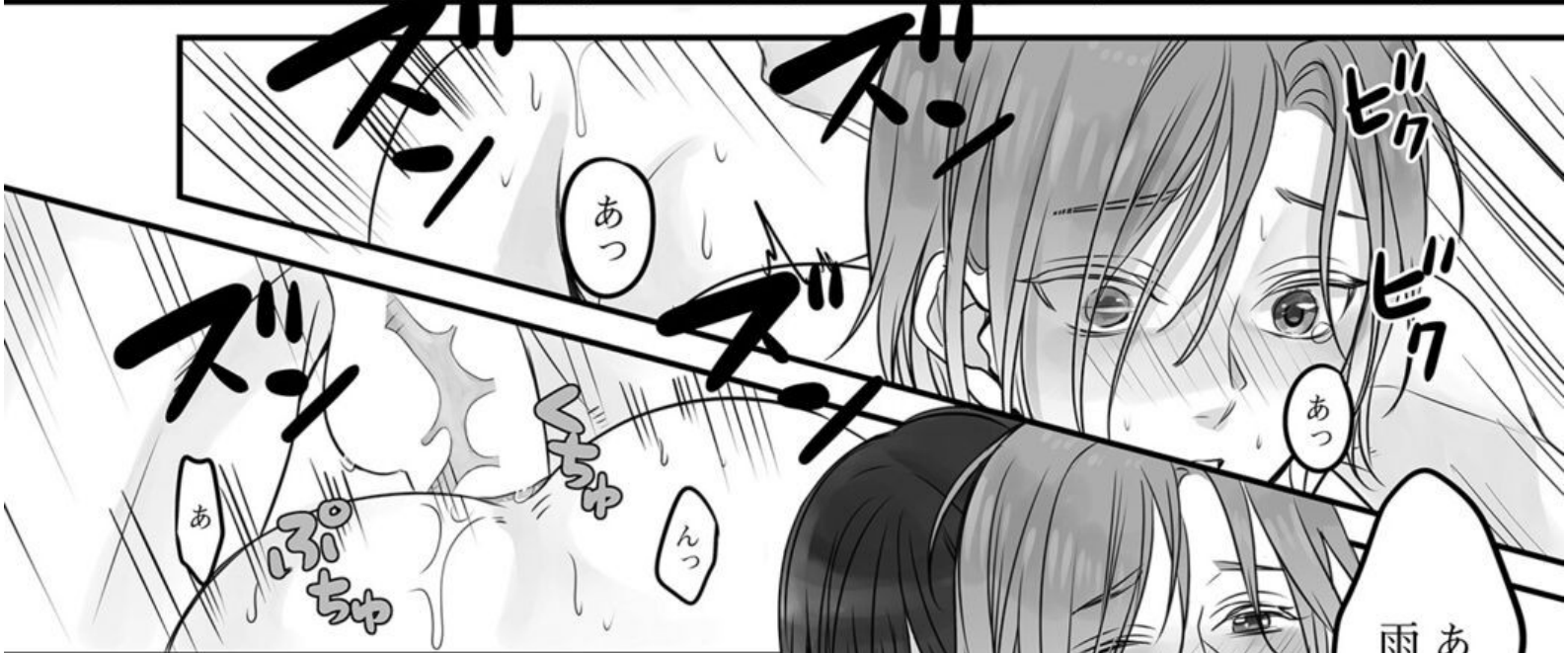
んっ

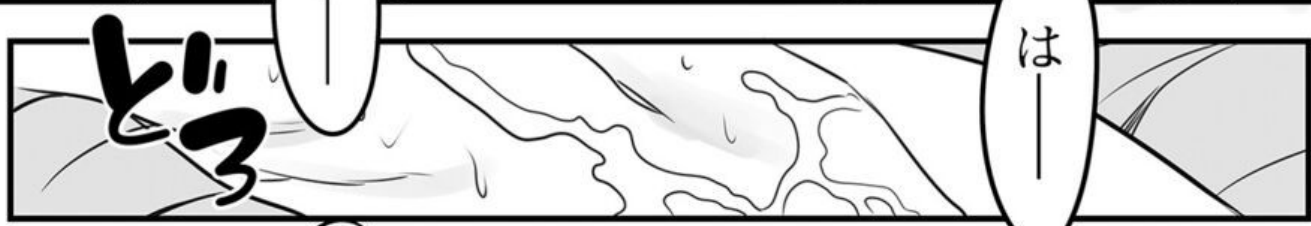
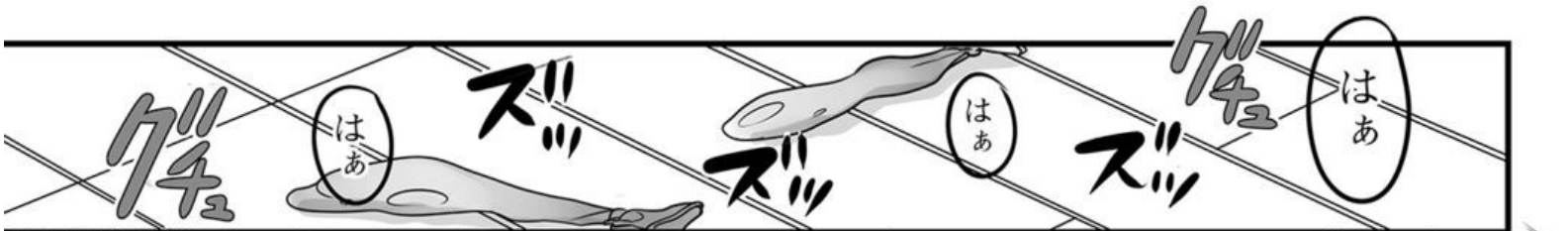
433

そこつ
コスつちや
だめえ

!!

びん







ねえ
古瀬

ん？



いっ

何？



今まで
古瀬は俺のこと
好き勝手に操ってた
って思ってた
わけじゃん

あーうん
そ…う
ごめん…

そうじゃなくてさ
結局それが事実じゃ
なかったわけだけど
古瀬は思い込んでた間
楽しんでたわけでしょ
それってちよっと
ずるいって
思うんだよね

え…
ずるい？



そうずるい
だからね

その分これからは
俺の好きなように
できたらって思うわけ

これってわがままだって
思う？





ううん！
わがままなんかじゃない！
全然いいよ！
雨野の好きにして！
なんでも言っつて！
なんでも命令して！

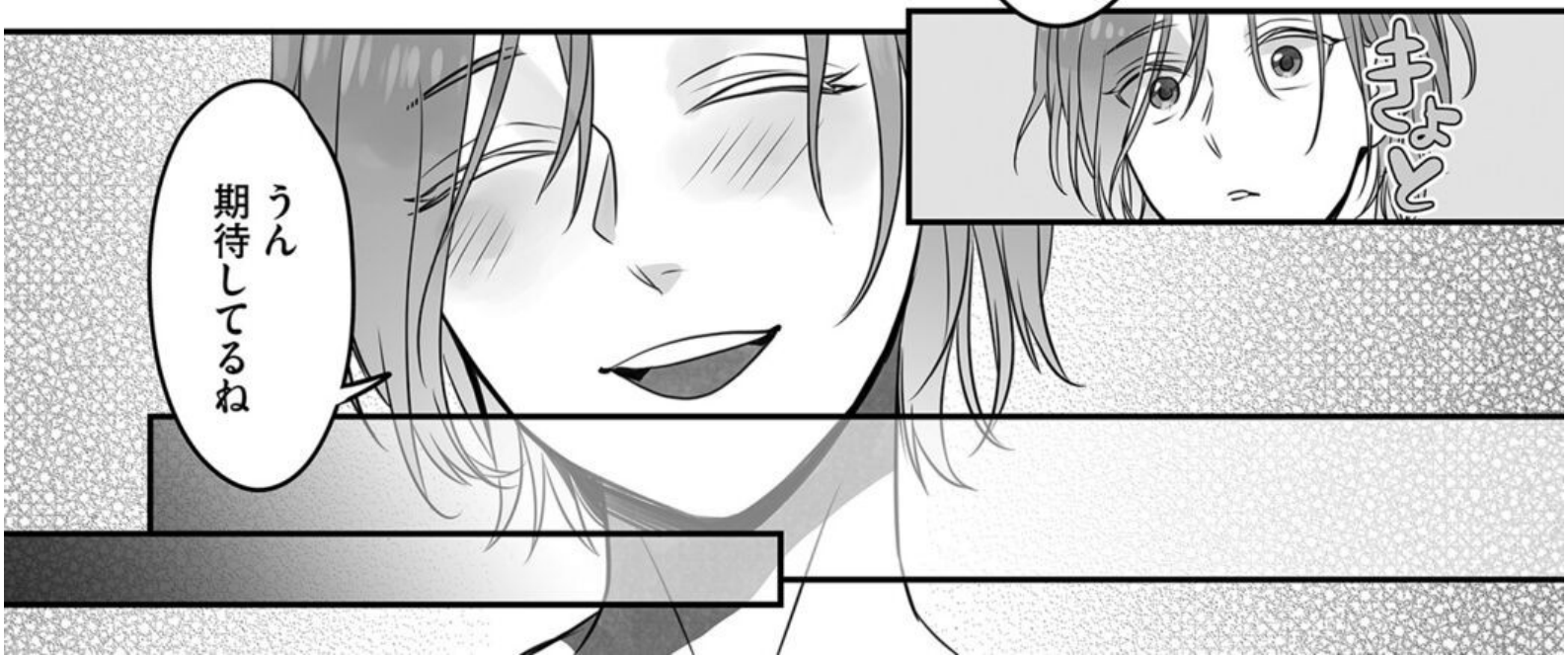
下僕です俺はー！

えーつと
そういうのじゃ
ないってば



雨野の望み
なんでも叶えられる
男になるからー！

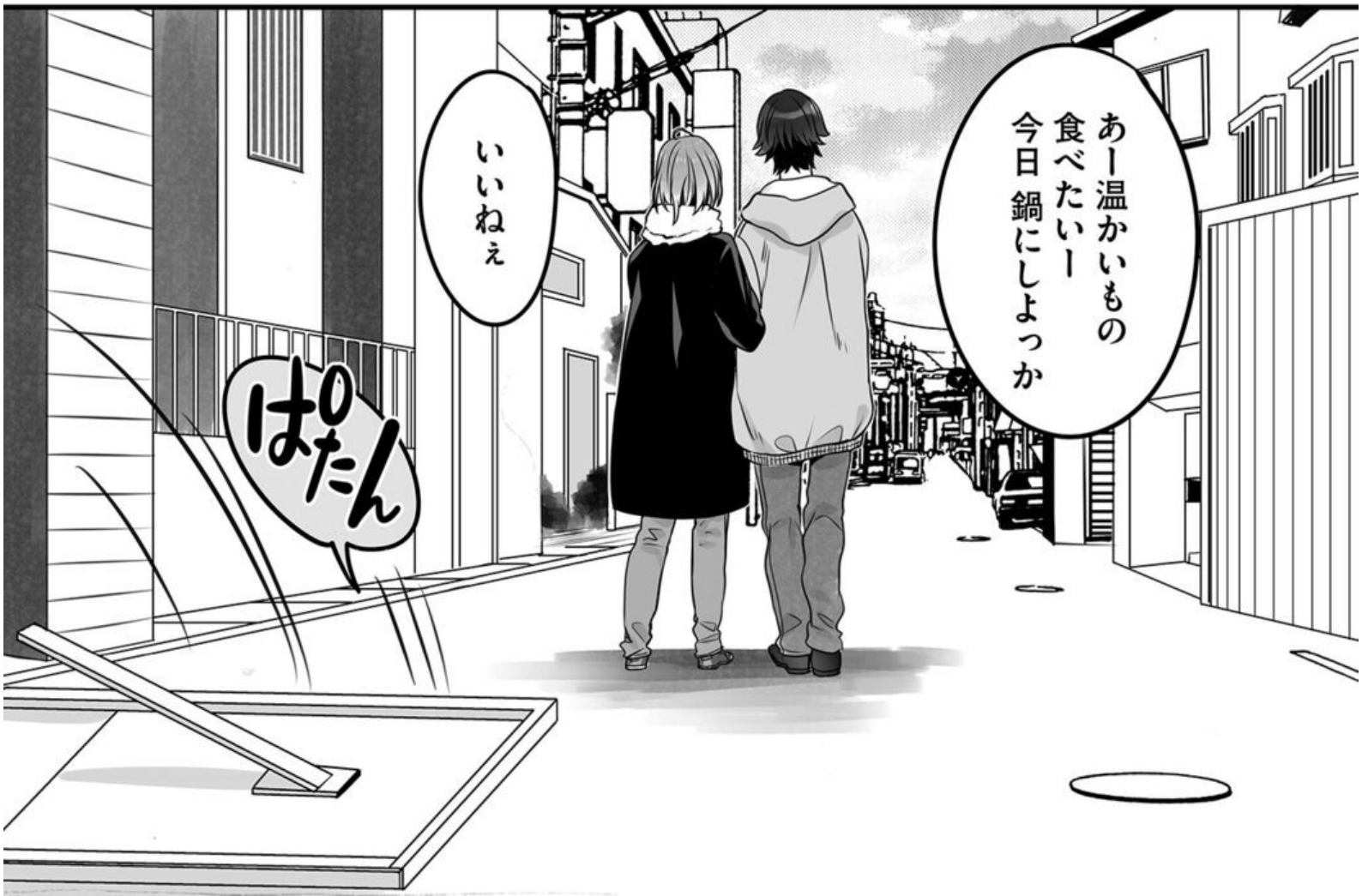
この先ももっと
一緒にいよう
期待してて



まよと

うん
期待してるね







Ordinary
friends

普通の
友達

第 5 話



あまの
雨野お待たせ……って

うわ
寒そうにしてる

ふるせ
古瀬え

お仕事
お疲れさま

OISI
オイシーホ



ずいぶん待たせ
ちやったかな？
ごめんね

いいよ
一緒に帰れる時は
帰らないとね

にしても寒いく
冷えるねえ

ふっ

えそんなに
寒いかなあ？

マジか？
俺ってもしかして
寒がり？



そーだね



それとももしかして
レディースって
生地薄いのかな？

それ女物なの？

うん
かわいいから
買った

えっ

女の子のっていつでも
リボンレースひらひら
ってわけじゃ
ないんだぞ



あつそうだ
髪の毛

髪下したほうが
暖かいんじゃないかな？

えー

ほら耳とか
隠れるし

いやあどうだろ
冷たくなってるよ
髪の毛



にょ
にょ



仕事の都合で伸ばしてるっ
って言うってたけど
雨野の長い髪
すごく気に入ってる

ずっと縛ってたから
跡付いちやってるし
なあ



うわ
好きって…

もー褒めて
もらってるところ
悪いんだけどさあ
…いいかな？

何？



ニヤニヤしてる…
古瀬好きだろ
長い髪

えっ！あいや
長い髪がなんでも
好きとかじゃなくて
雨野の髪がさ
似合ってたとしても
かわいい…好き



ふわあく
スーツは冷たいかも
でも中は暖かいねえ



もうダメ寒すぎる！
少し暖取らせて
古瀬暖かそう
なんだもん！

うわっ

キリッ



今なんだか
懐かしい気持ちに
なってしまった

あ



ほら子どもの頃
父親によく
こうやって
なかった？

懐かしい？

うん

いや
ないなあ

そっかあ



これだとどう？

んー
あったかいねえ

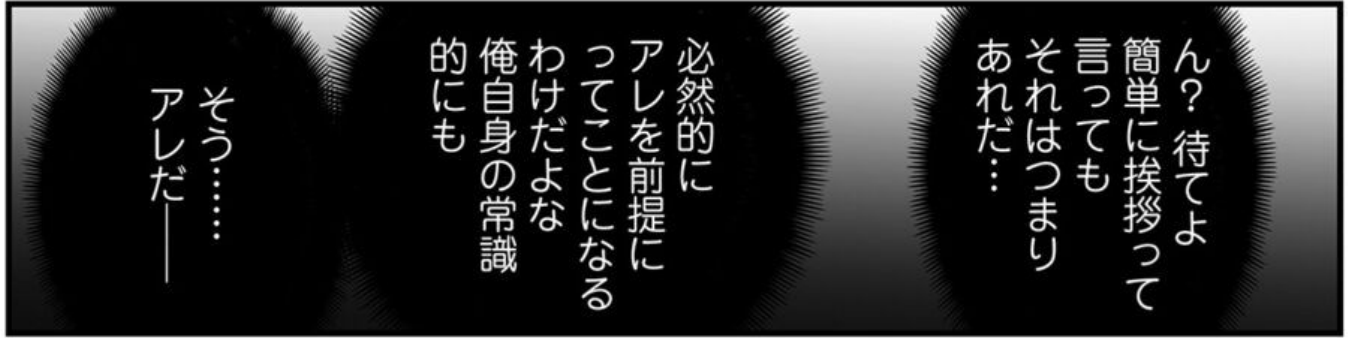
キリッ





そういえばこんなふうに
学生時代からつきあって
同棲までしてるのに
挨拶したことがないな

早く行こうよー



ん？ 待てよ
簡単に挨拶って
言っても
それはつまり
あれだ…

必然的に
アレを前提に
ってことになる
わけだよな
俺自身の常識
的にも

そう……
アレだー

結婚!?

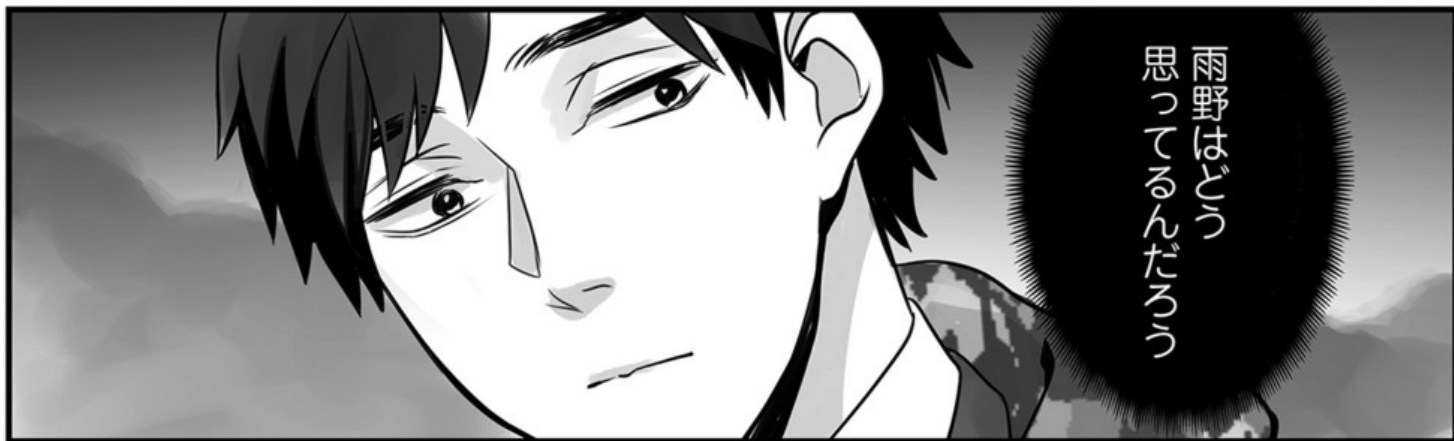


そうだよ結婚！
今まで頭をよぎらなかつた
わけじゃないけど
まだ学生だしー新社会人だし
とか考えないようにしてた
そうだよな

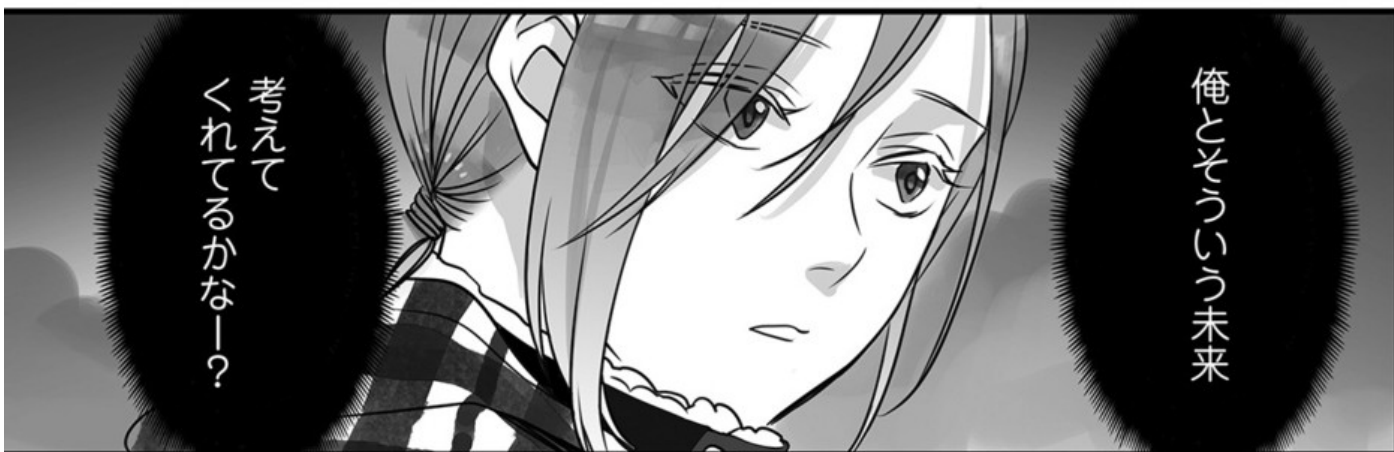
今日は
弁当でいいかな

同性婚が認められて
何年も経ってるんだ
俺も…
俺たちだって…！

ちよつと古瀬
聞いているー？

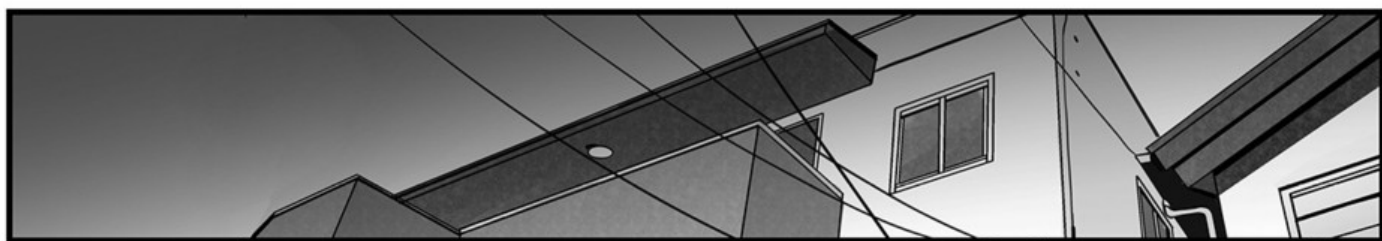


兩野はどっし
思ってるんだろっ



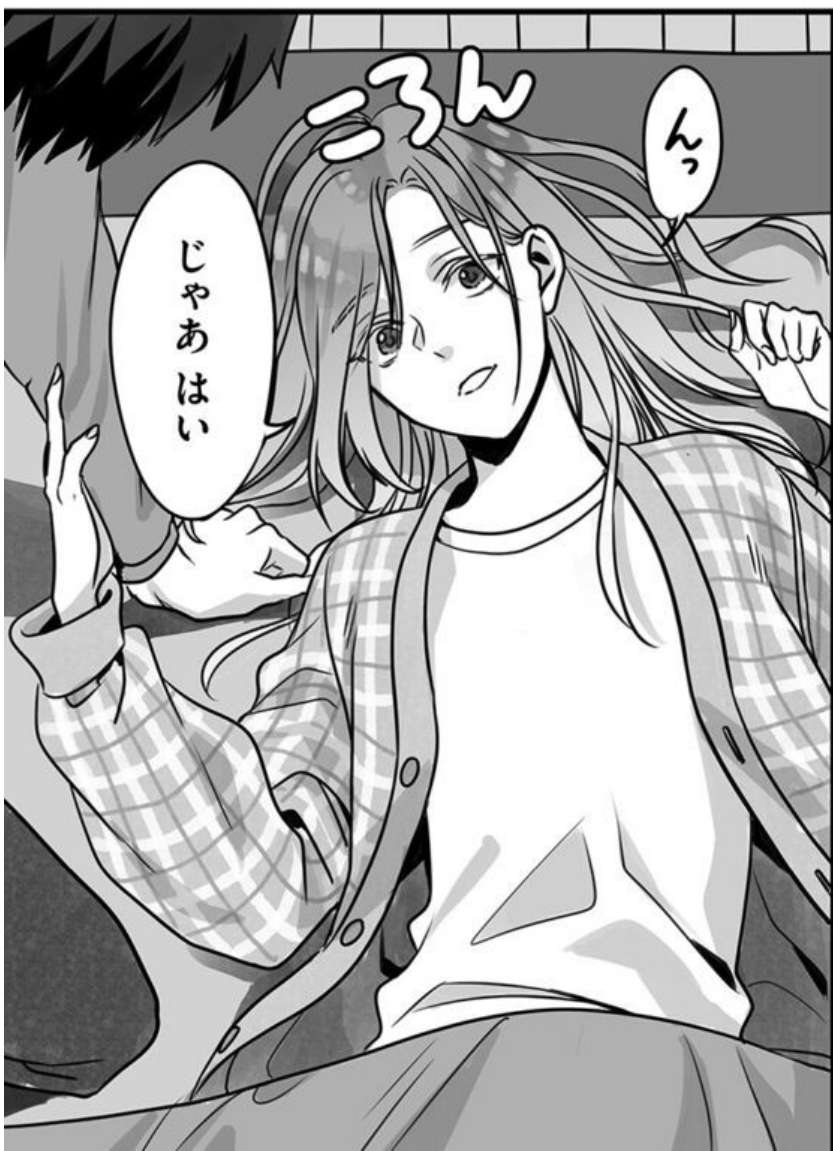
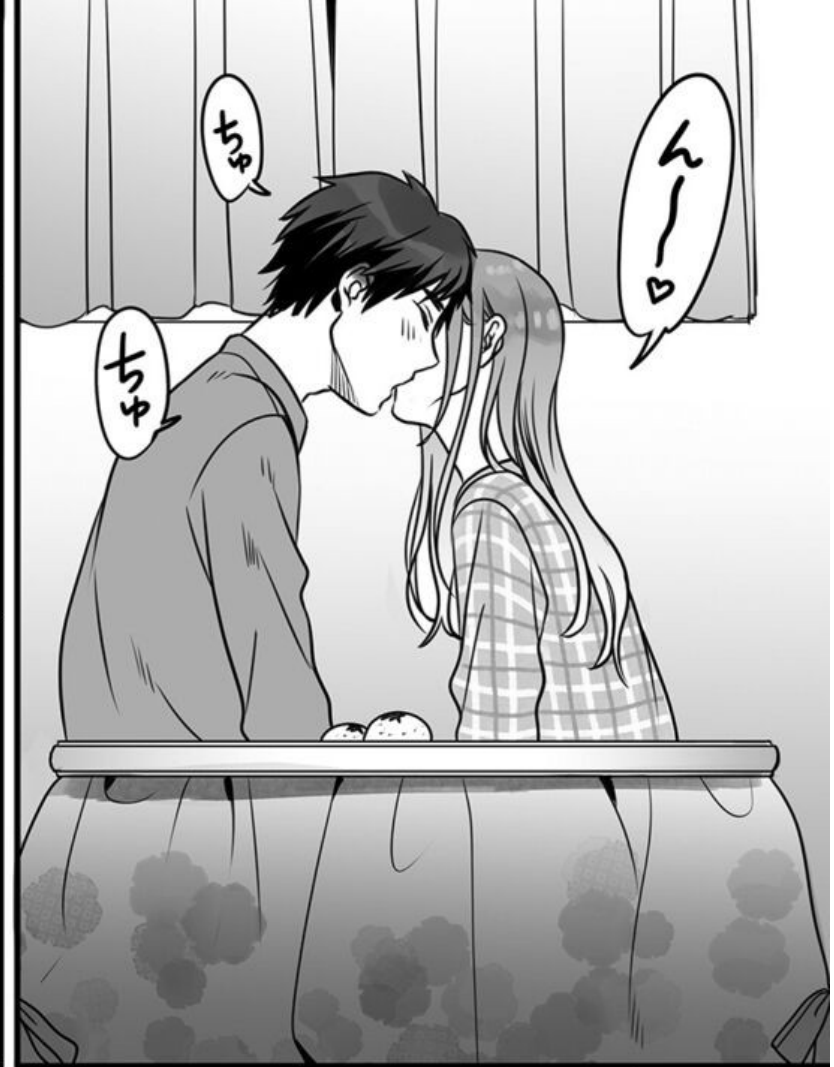
俺とそっういう未来

考えて
くれてるかなー？



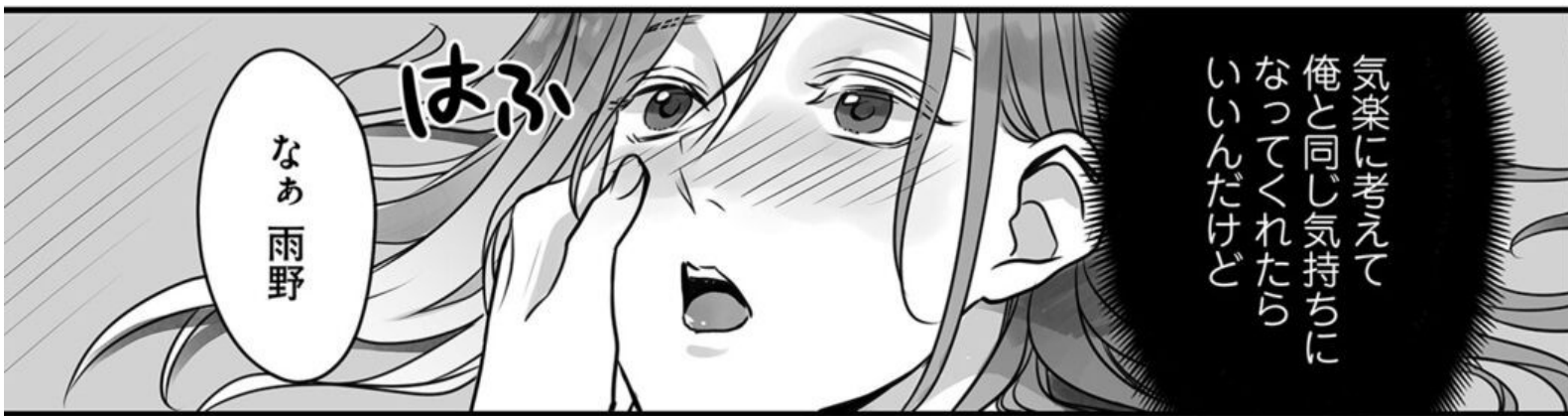
ちゅ

ちゅ





結婚したって
こういうのは
変わらないよな



気楽に考えて
俺と同じ気持ちに
なってくれたら
いいんだけど



この先もずっと
こうやって暮らせて
いけたらいいね



まゅ

んーそうだね
だったらいいね



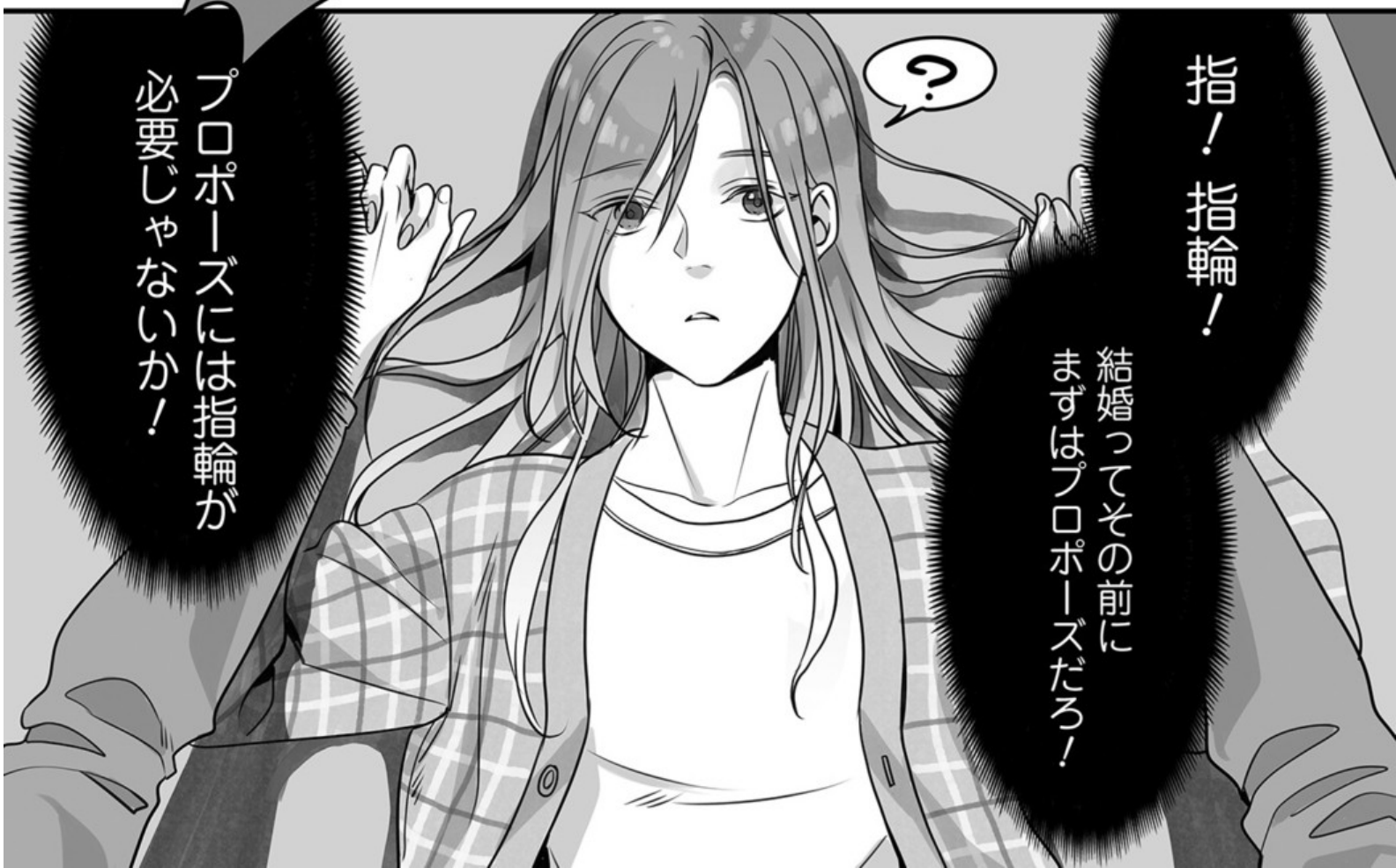
コタツでエッチ？

ん
そういうのも
含めて



手…
握り返してくれる
この指が

俺は大好き…



指！ 指輪！

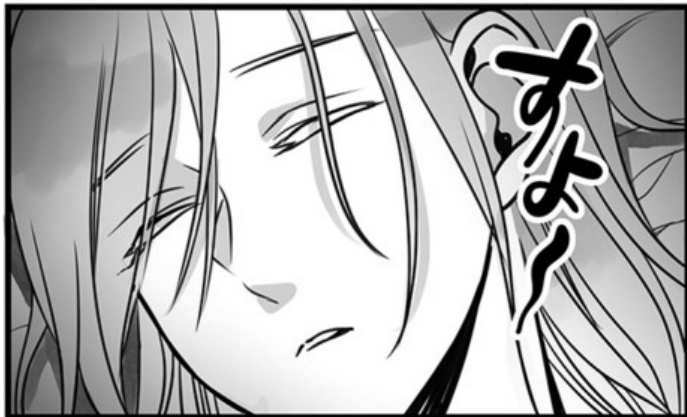
結婚ってその前に
まずはプロポーズだろ！

プロポーズには指輪が
必要じゃないか！

？







想像しただけで
キンチョーして
眠れないぞ

ご両親に
挨拶かあ



このたびは董市くんと
の結婚のお許しを
いただきたく
ご挨拶に参りました

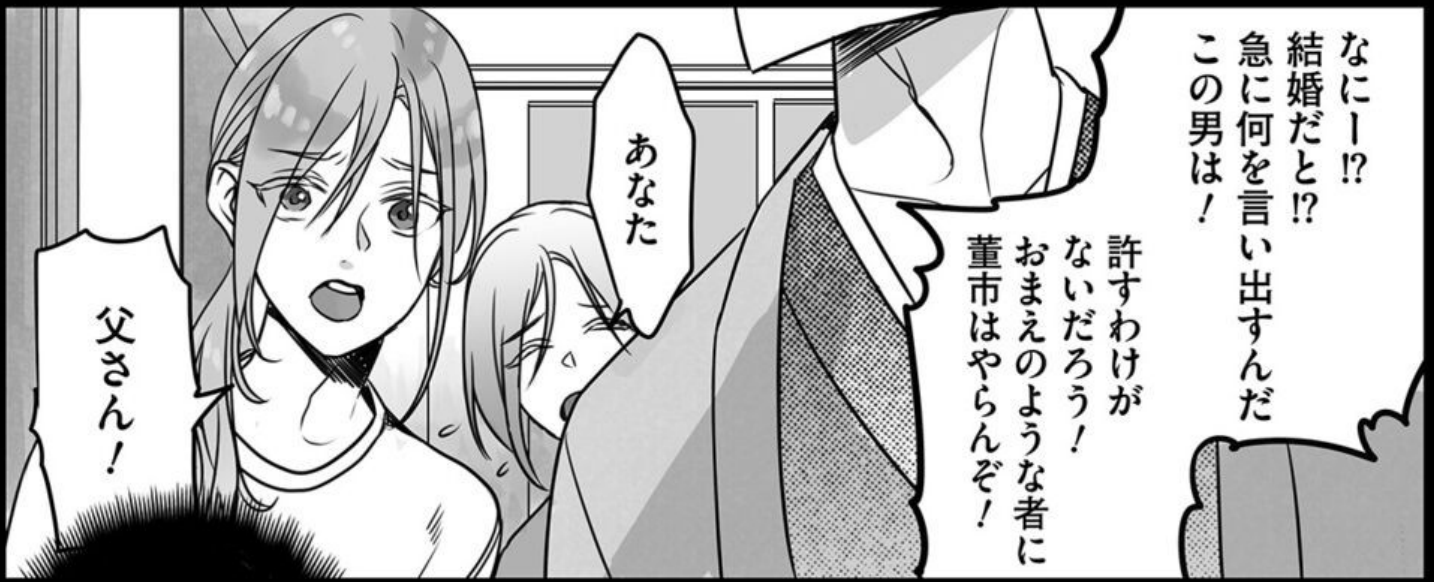
初めまして
古瀬進と申します



雨野そっくりの
美人なお母様
なんだろうなあ
雨野のご両親だし

想像不可

きっと超絶美形の
お父様と――



なにー!?!
結婚だど!?!
急に何を言い出すんだ
この男は!

許すわけが
ないだろう!
おまえのような者に
董市はやらんぞ!

あなた

父さん!



お父様お話をー!
どうか聞いてください
俺は真剣に董市くんをー

ええい黙れ!
誰がおまえのお父様だ!
さっさと出ていけ
このたわけがあ!

やめて父さん!

あなた

ドクダニ

※古瀬君は最近昭和のドラマを履修しました



足蹴にされて
ポコポコにされて
反対されても
俺は耐えてみせるぞ
許しを得るまで
諦めないからな!

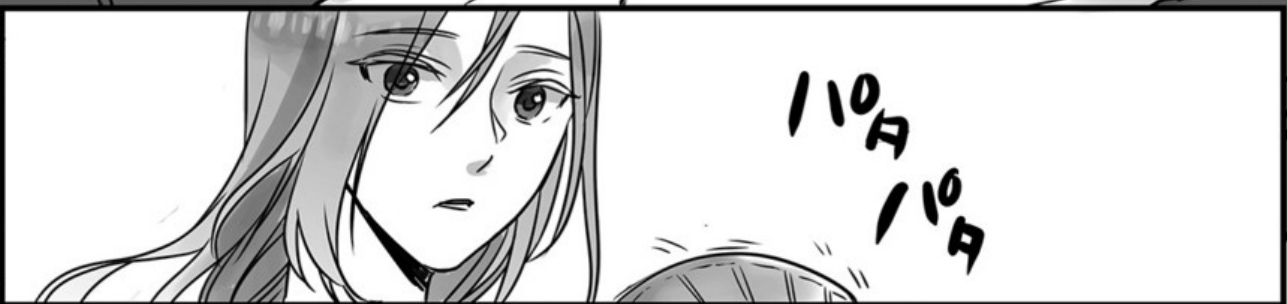
ままま

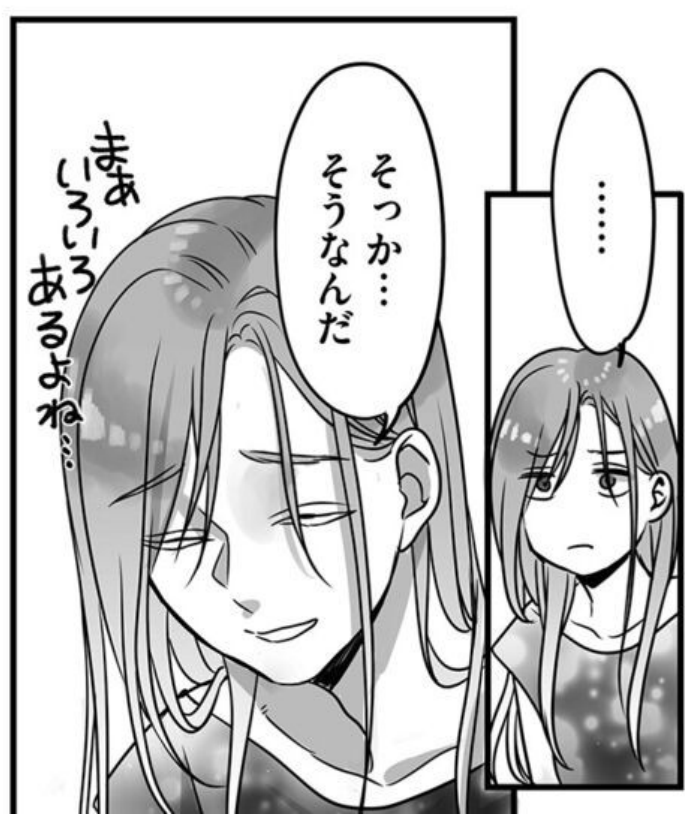
とにかく！
まずは給料何カ月分かの
指輪を買う！
せめてそれくらいは
できないとな！

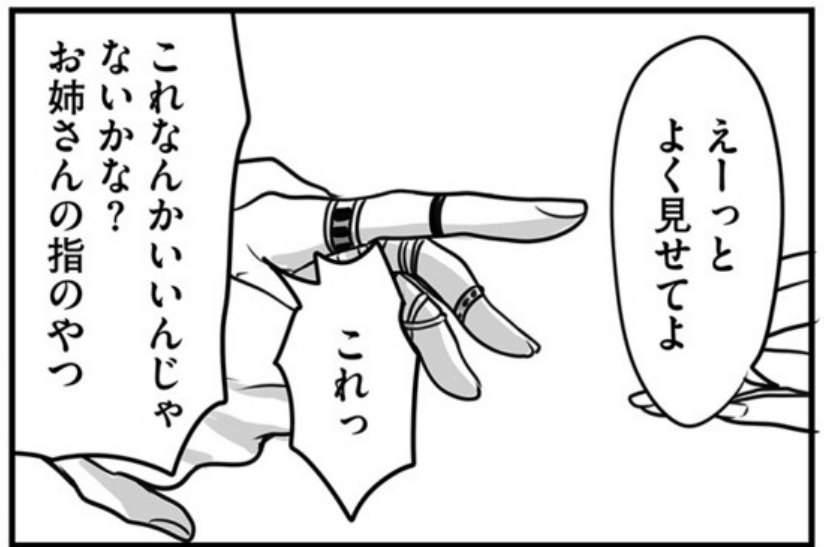
仕事頑張ろう！
金貯めよう！

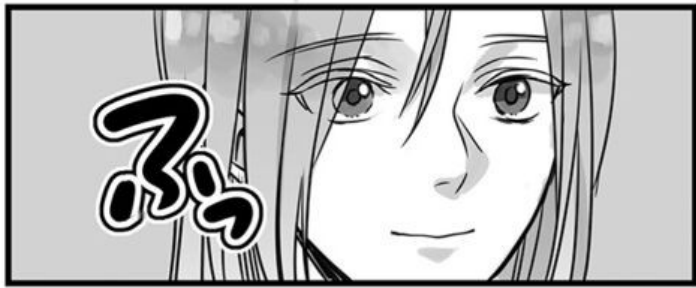
出世しよう！
両野のこと楽わせて
あげられるように！！

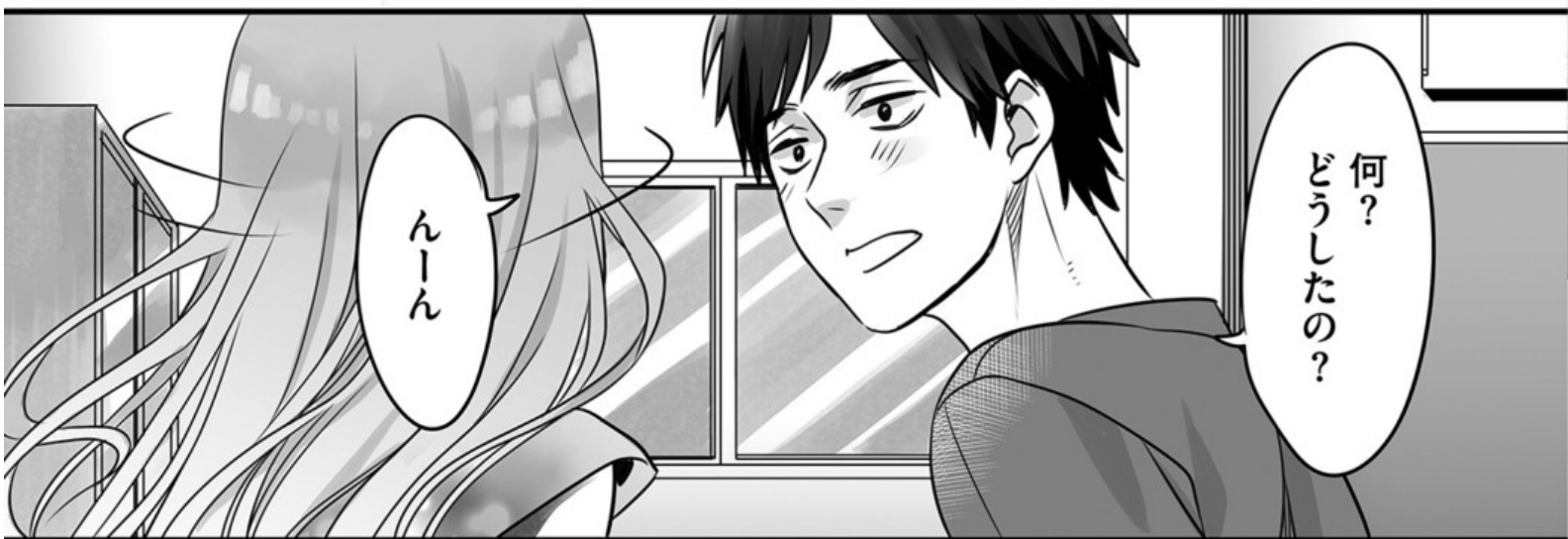
かわい...

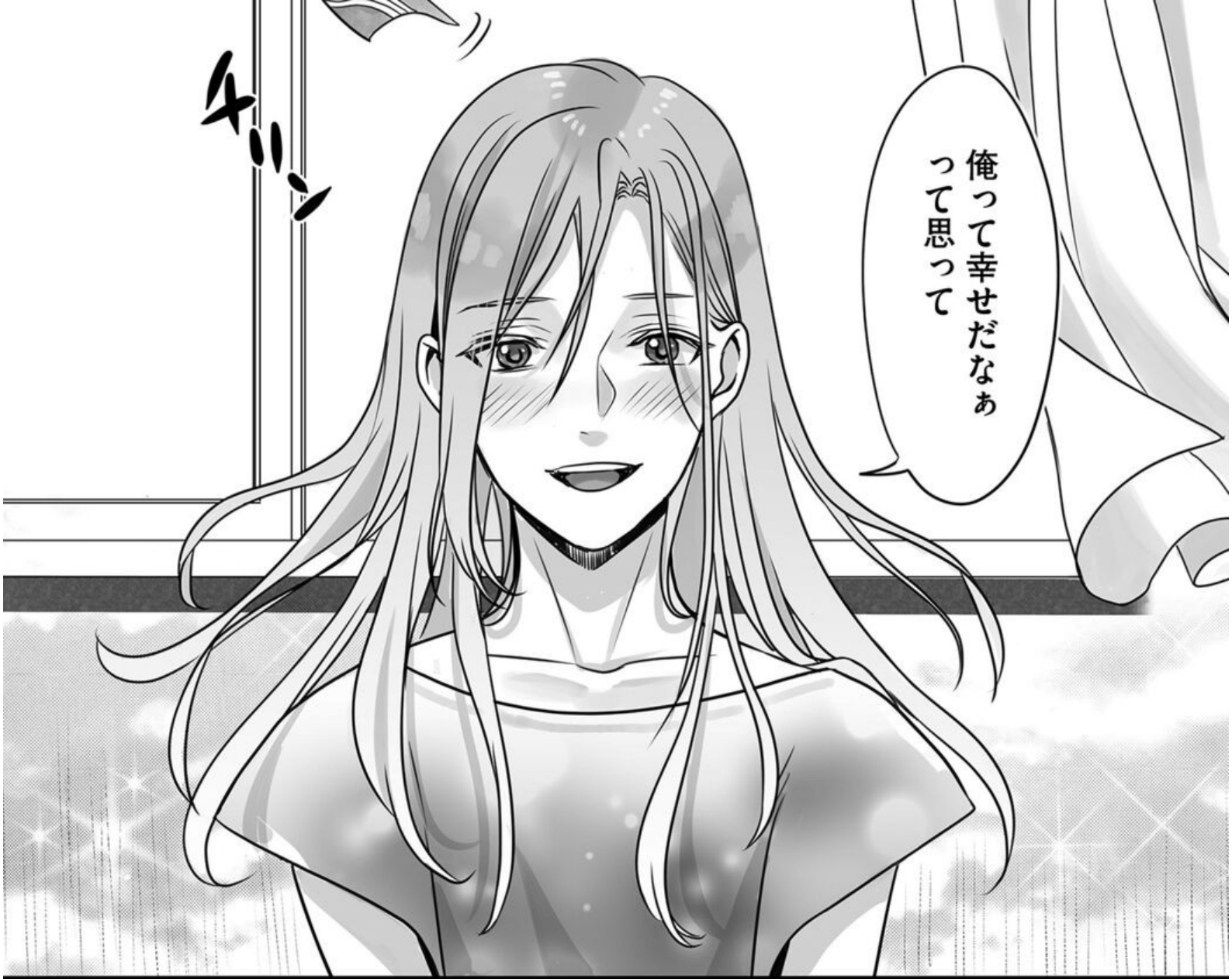












俺って幸せだなあ
って思ってる



うん…
良かった！

END



同じクラスの
古瀬進くんだ



青き日の純情

俺には気になる人がいる

コミックス特別描きおろし



ここが男子校で良かった
女子がいたら絶対
モテるでしょそしたら
嫉妬と焦りでどうにか
なっちゃうもん絶対

彼はいつもひょろひょろ
頭も良くて格好いいのに
誰ともつるまない
孤高の男！って感じで
それがまた俺の心を
引きつけちゃうのだ



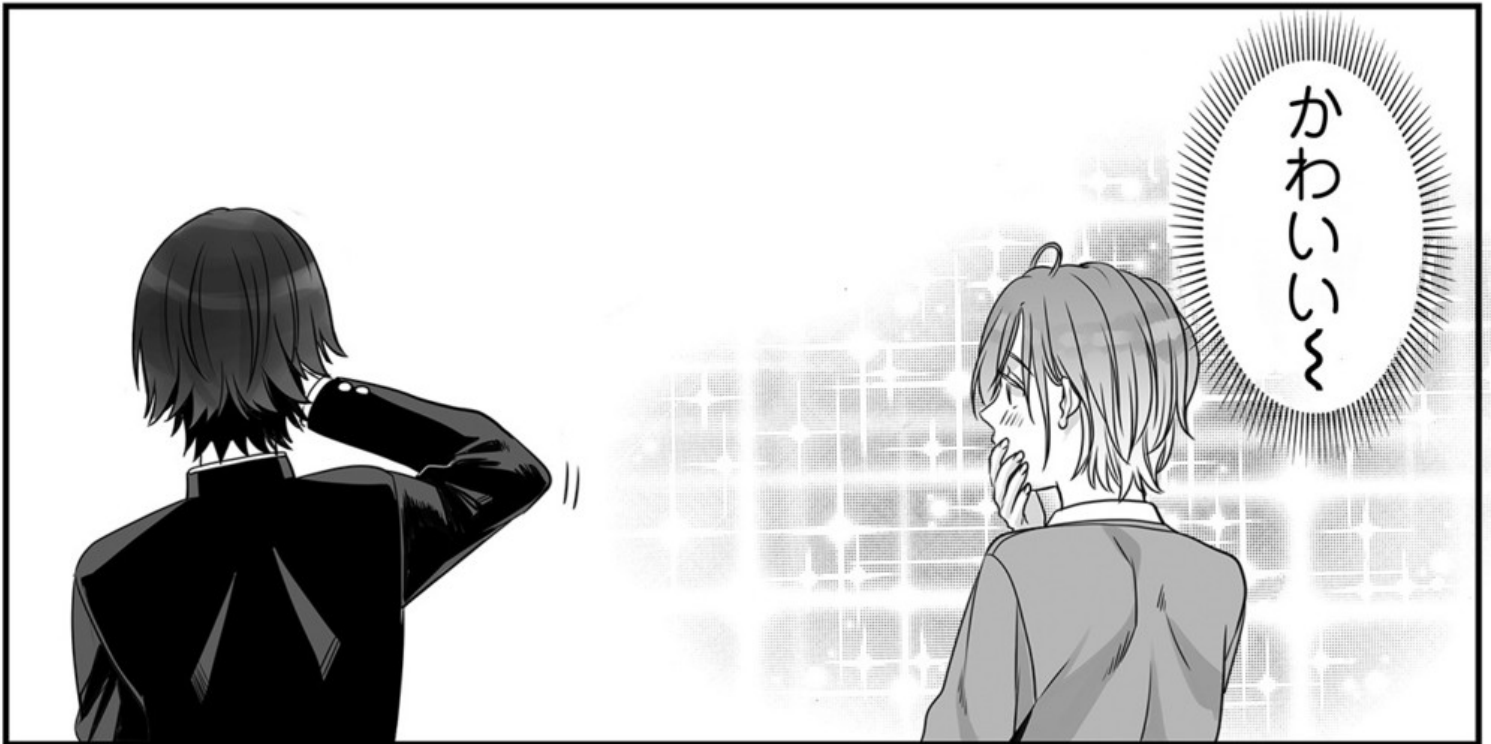
ふんふん

あ…
あぐびしてるー！

は



うわぁ目を
こぼして



かわいい〜

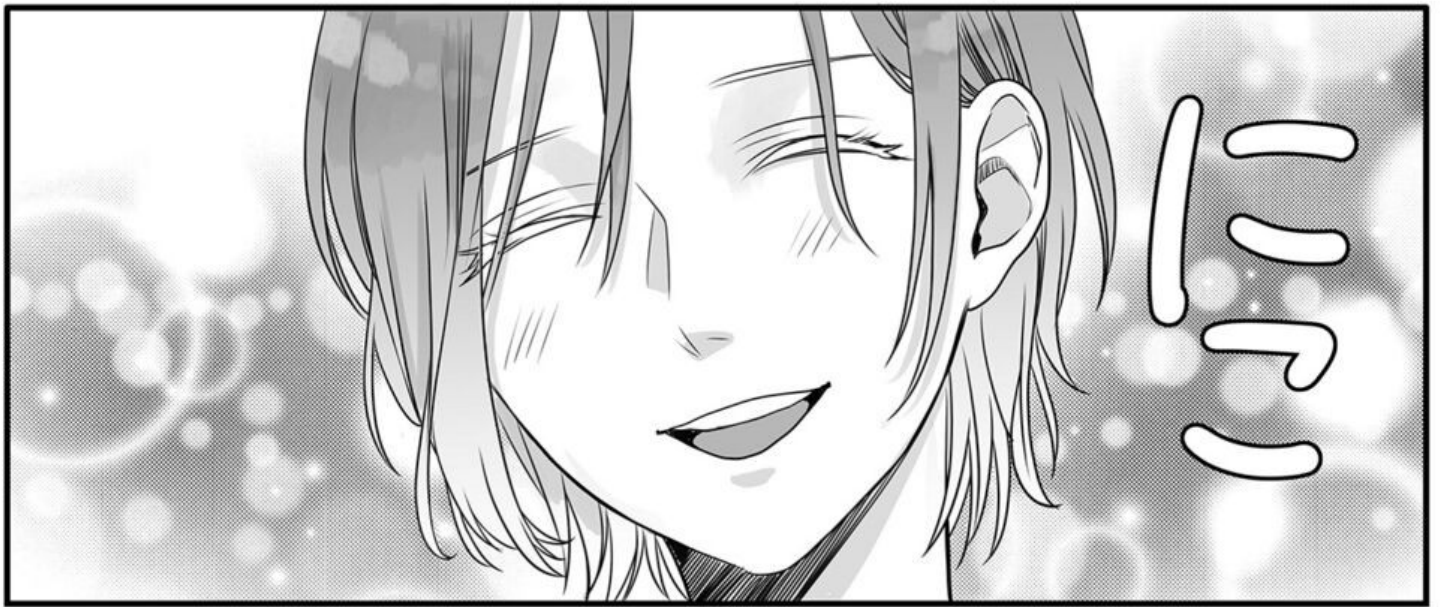


ち



は





に
に
に
に



見てるのバレたかな…

笑ってしまかしたけど…





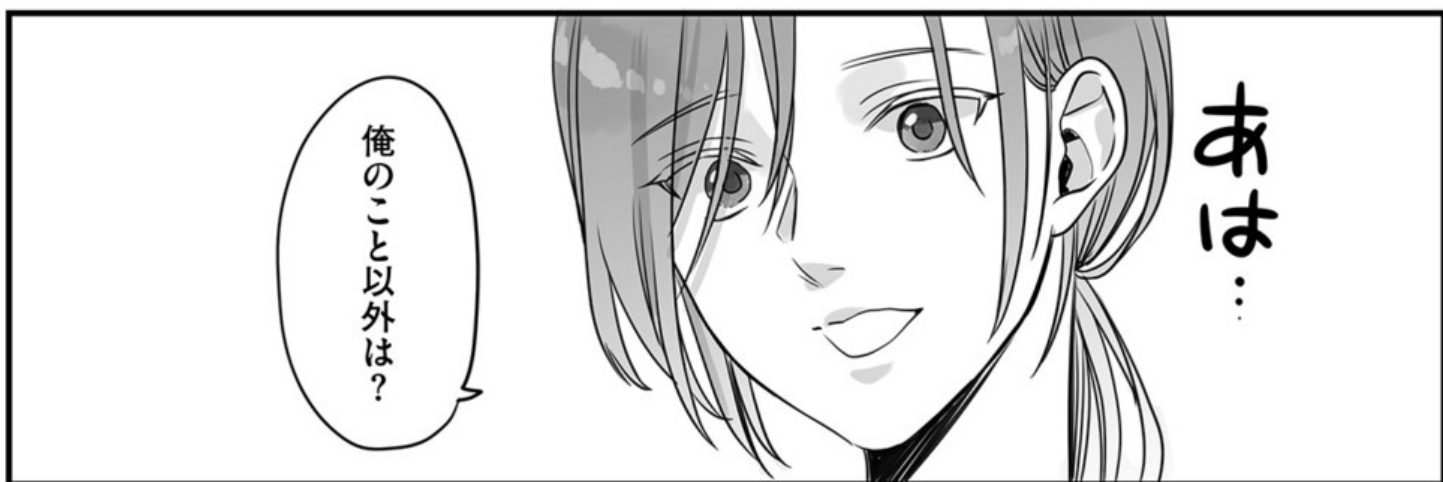


それは…

この力は危険だ
って思ってた…

悪いことは想像しない
ようにしてたというか
考えても今の無しって
思ったり…

あまの
雨野のこと以外は
考えないように
してたっていうか…



あは…

俺のこと以外は？

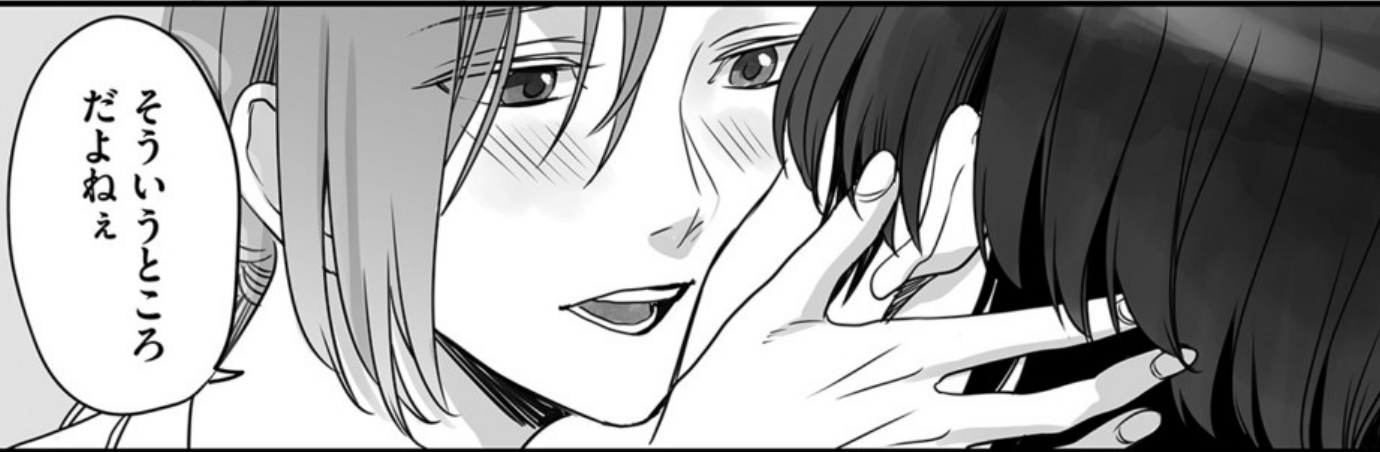


じゃあ俺のことは好きに
していいって思ってた
たってことか

いや…

違う！ そうじゃなくて
雨野のことだけは
願っていたっていうか

俺の願望は君にしか
ないっていうか…
あー…えっとそれは
だからそうじゃなくて
えーっと…

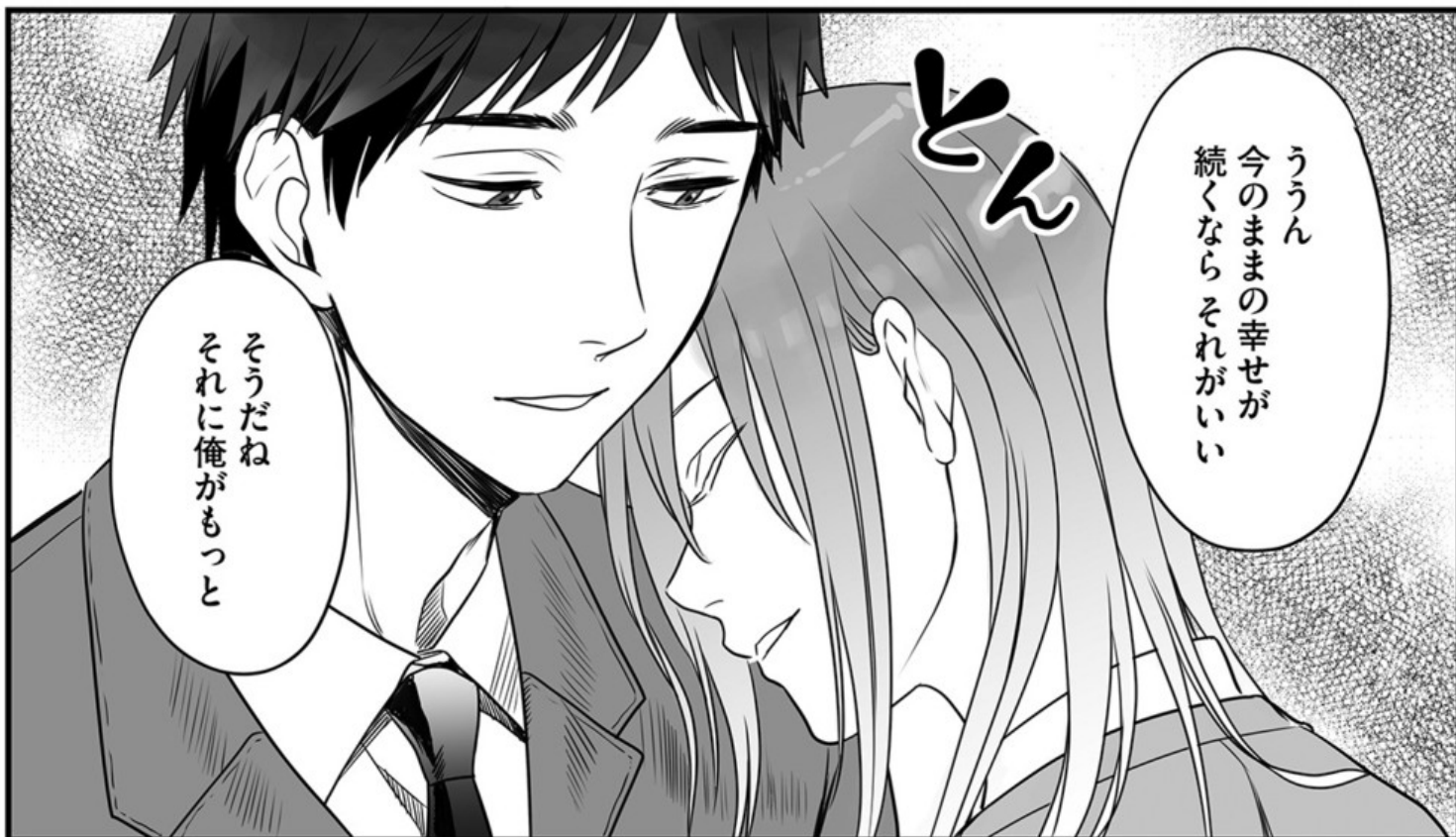
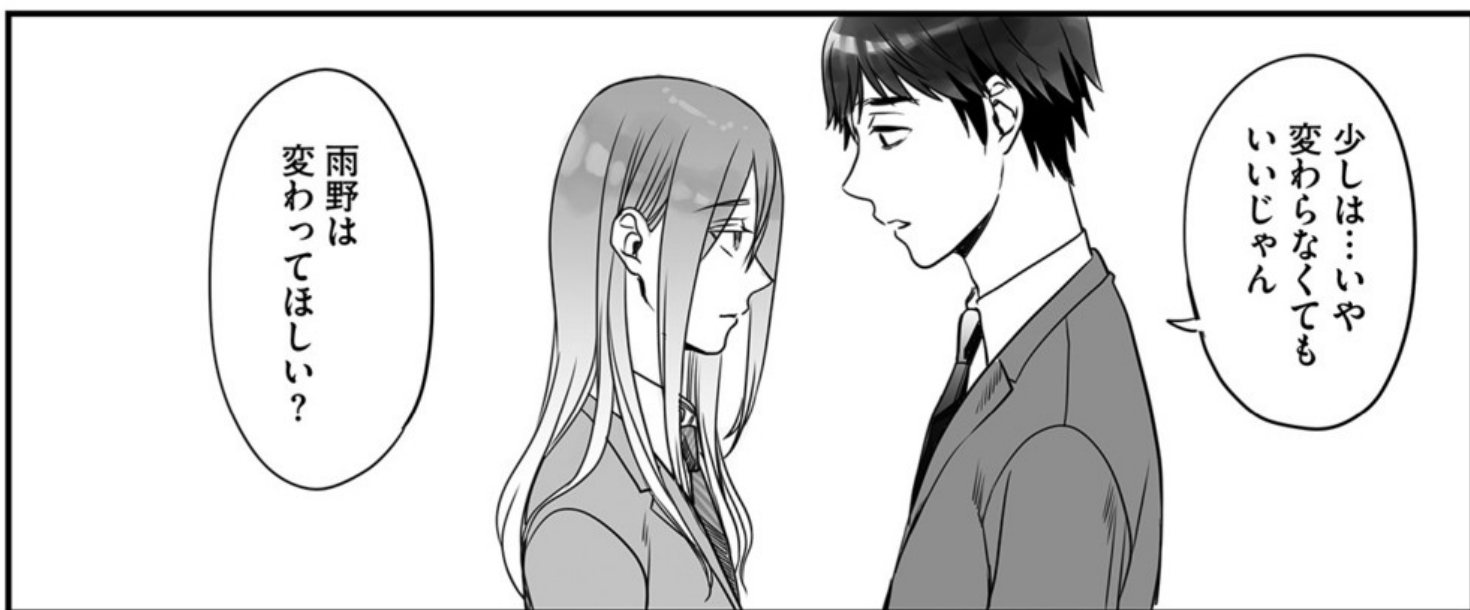




新しく始めよう





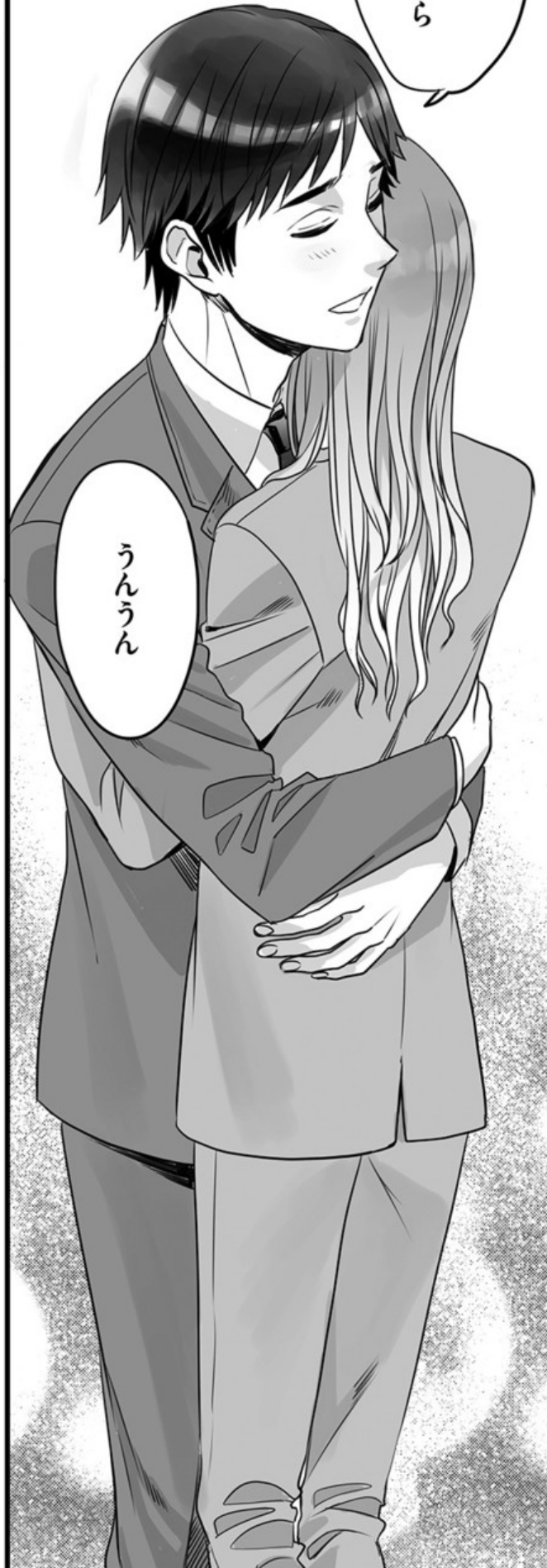




末永くよろしく
お願いします



もっともっと
幸せにするから



うんうん



こちらこそ

Happy End

普通の友達

007	第一話	新・ワンダフルBoy's vol.41	2021年5月
043	第二話	新・ワンダフルBoy's vol.43	2021年7月
071	第三話	新・ワンダフルBoy's vol.45	2021年9月
103	第四話	新・ワンダフルBoy's vol.47	2021年11月
135	第五話	新・ワンダフルBoy's vol.49	2022年3月

光彩コミックス®

2022年7月10日 初版発行

著者 宮下キツネ
編集人 阿部理絵
発行人 中沢克政
発行所 株式会社 一水社

〒162-0805 東京都新宿区矢来町113 神楽坂升本ビル3F

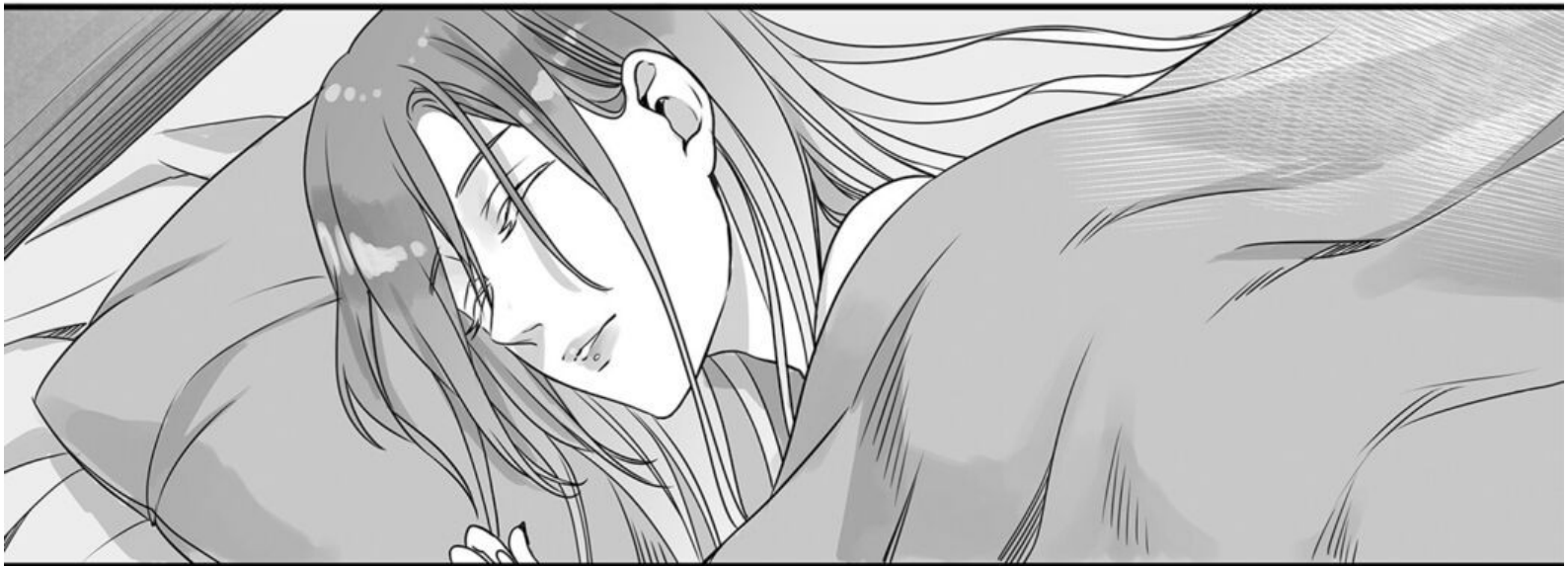
☎03-6280-8660(代) <http://www.issuisya.co.jp/>

製版所 株式会社オノ・エワン
印刷所 三共グラフィック株式会社
装丁 齋藤 渉 (chipco design)

©Kitsune Miyashita2022 Printed in Japan

- ・この物語はフィクションであり、実在の人物、団体、思想などとは一切関係ありません。
- ・万一、乱丁・落丁本がありましたら、送料小社負担にてお取り替えいたします。
- ・本書の一部または全部を無断で複写・複製・電子データ化することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
- ・この作品を読んだ感想を一水社までお寄せ下さい。宮下先生へのファンレターもお待ちしております。

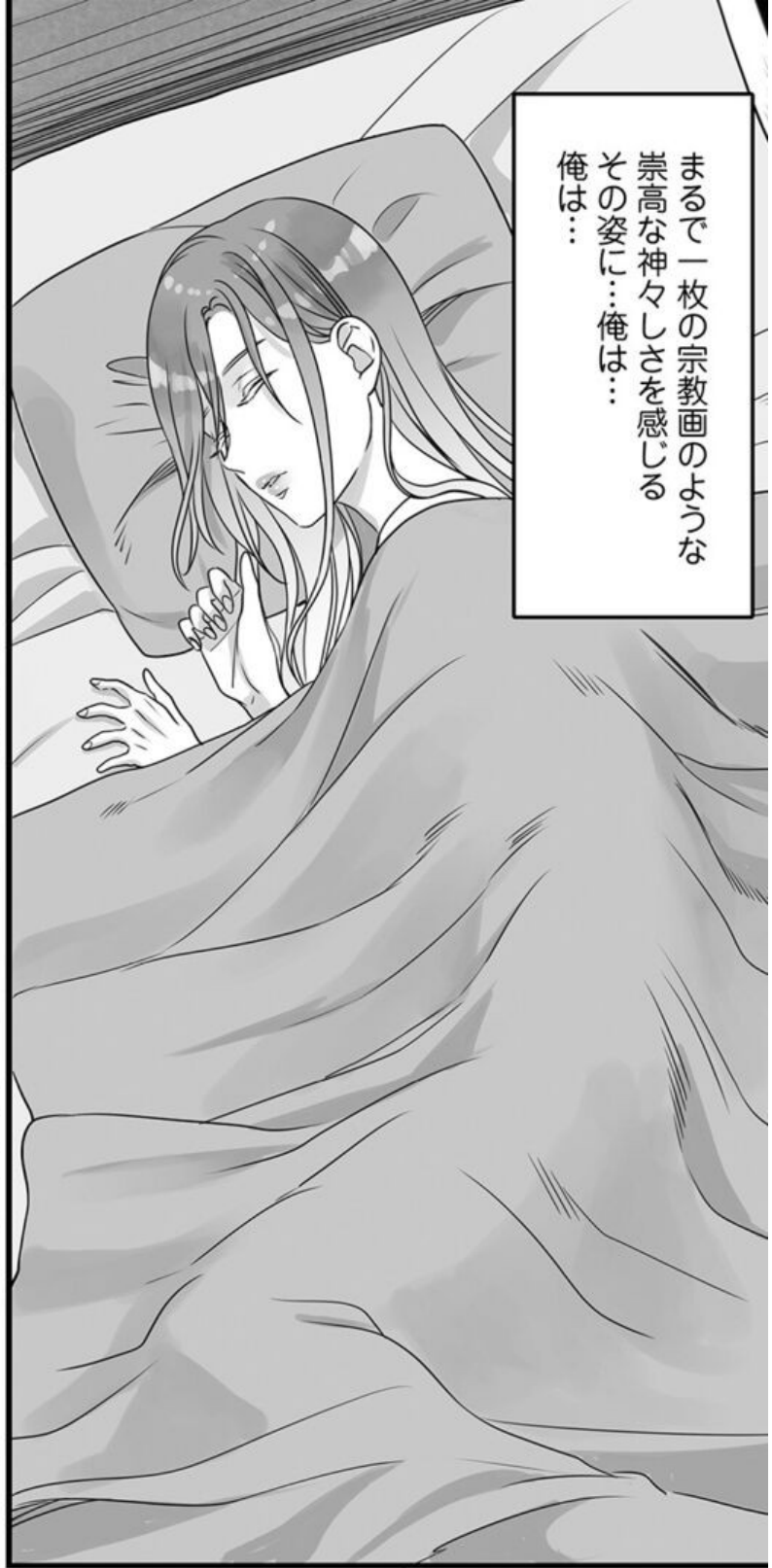




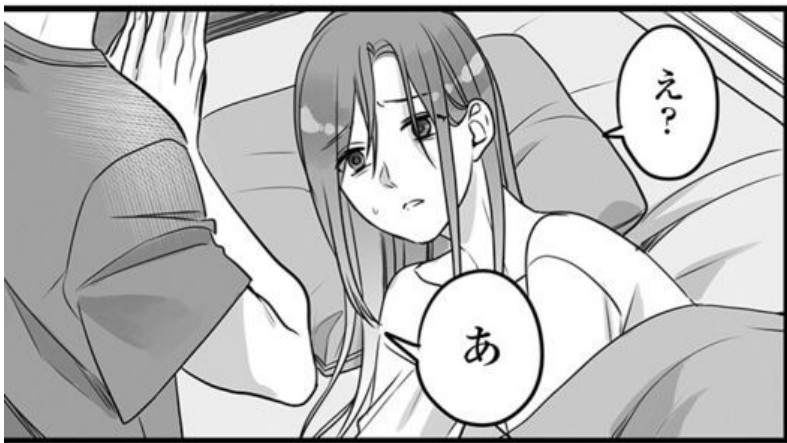


俺はいつも
拜まずには
いられないのだ

え…何してんの？



まるで一枚の宗教画のような
崇高な神々しさを感じる
その姿に…俺は…
俺は…



え？

あ



あつ

いやそういう意味じゃ
なくてちよつと
拝みたくなっちゃったって
いうか…

俺生きてるけど
どういふんだよ…





おはよう

ああ
眩しいなあ



今日も
大好きだ

お腹減ったねえ
拌まれたところで
人間なので
お腹は減ります

何か作るよ
コーヒー
飲むよね？

うん
砂糖とミルク
入れてね

うん

うん

END

